

兵庫県豊岡市但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第9号 (平成17・18年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.9 (for the fiscal years of 2005-2006)

あ い さ つ

日本・モンゴル民族博物館が開館し、10周年を迎えました。平成7年4月に発足したモンゴル博物館建設対策室では博物館の建設・開館を最大の目標にさまざまな準備活動を展開してきました。博物館建物が竣工した後は、福田芳郎初代館長のもと、社会に開かれた博物館として小所帯であるものの多彩な活動を積み重ねてきました。企画展や講演会、講座、出前授業などの普及活動、ホームページの開設・更新などによる情報発信を行ってきています。平成17年度は企画展3回、18年度3回、特別展1回開催し、これまで企画展の開催は34回をかぞえ、博物館がその10年の中で蓄積してきた貴重な文化資本の一端を広く市民に公開してきました。

平成17年4月1日から豊岡市・城崎町・竹野町・日高町・出石町・但東町の1市5町が合併し、新「豊岡市」として発足いたしました。博物館は豊岡市教育委員会文化振興課の所管となり、市出土文化財センター、植村直己冒険館、但馬国府・国分寺館、伊藤清永美術館、日本・モンゴル民族博物館の5館を管理運営しております。所管や規模の大小こそ違えども、これ以外の市立施設として数多くの施設があります。城崎美術館、城崎文芸館、コウノトリ文化館、いずし古代学習館、家老屋敷、住吉屋歴史資料館御用地館、仲田光成記念館、東井義雄記念館などの文化資本が充実しておりますが、厳しい財政事情から博物館の活性化に向けた取り組みが求められております。博物館がこれまで何をし、今何をしているのか、今後どのようにしていくのかを市民とともに真剣に考える時期にきております。

博物館が所蔵する豊富な資料は、貴重な資料であるだけでなく、新たに活用されるべき資源でもあります。「百聞は一見にしかず」、「資料・標本」にはまだまだ多くの情報が埋もれています。「もの、実物」だけが与えられる感動があります。当館はアジアやモンゴルの歴史および文化に関する貴重な資料を所蔵しておりますが、この資料を使ってどのような情報を提供し、地域や社会に対していかなる貢献ができるのか、そのことに十分に力を注がなければならないと考えております。地域の振興、活性化に寄与するのはもちろんですが、何よりも博物館活動の主役は利用者であることを念頭に豊岡市民をはじめ、多くの皆様と協働し、進化を続ける博物館づくりに努める所存です。

21世紀を生きる私たちは様々な問題を抱えています。それらを克服していくためのヒントが、厳しい自然環境と共生しているモンゴルの文化から見つけていただければ幸いです。

平成19年3月31日

日本・モンゴル民族博物館

館長 金津 匡 伸



平成17年度 モンゴル国研修生

目 次

I. 平成 17・18 年度概要	3	3. 開館 10 周年記念イベントの開催	
II. 展覧事業	4	4. モンゴル人陶芸家ムンフバートル氏の来訪	
1. 常設展		VI. 管理運営	20
2. 企画展		1. 組織・職員	
3. 特別展		2. 予算の概要（決算額）	
III. 資料収集保存事業	10	3. 利用状況	
1. 寄贈		4. 施設管理	
2. 購入資料		5. 博物館協力会	
3. 資料の貸出		6. 各種委員会等の受諾	
4. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
5. 備品の寄贈		8. 入館者 30 万人の突破	
IV. 普及教育事業	12	9. 博物館日誌抄	
1. 出前授業		10. お客様の声より抜粋	
2. 体験教室・講座の開催		11. 施設概要	
3. 講師派遣		12. 交通案内	
4. 原稿の依頼		13. 利用案内	
5. 博物館実習生の受入			
6. 教員のための研修		あとがき	41
7. こども放送局の放映			
8. 情報の発信と公開			
V. 国際交流事業	18		
1. モンゴル国との国際交流			
2. モンゴル国研修生の受入			

I. 平成17年度・18年度概要

1. 平成17年度

平成17年度は市町合併により「但東町」が「豊岡市」となった特別な年であった。職員の退職と新規採用職員2名の増加もあり、新たな体制での博物館のスタートとなった。広域化したまちでの広報活動や地元の歴史の再発掘、市内にある他の博物館・美術館等の連携や評価方法の見直しなど、当館を取り巻く環境は大きく様変わりし、また事務の煩雑さもあいまって、慌ただしく過ぎた一年であった。

利用者数は前年度に比べ減少することとなった。これは冬季の記録的な大雪により、12月から3月にかけての利用が落ち込んだことがその原因と考えられる。また前年に起こった大規模な台風災害の爪あとが依然残っており、近隣地域へ自動車や観光バスが通行することが不便な状態であったこともその理由として挙げられる。

企画展は昨年度から継続して開催しているものを含め、計3回行った。この展示についてはテーマをモンゴルに限定せず、様々な内容で行っているが、市町合併以降「豊岡市の文化財」をシリーズ化し、地域の歴史や文化を内外の人に紹介できる展示を継続して開催したいと考えている。

普及教育活動では、学校教育の支援を目的とした出前授業をはじめ、博物館教室の開催やイベント等の開催、学芸員実習生の受入などを行っている。出前授業は近年その活動が定着し、利用も増加してきたが、この年は特に地元での活動に重点を置き、豊岡市及び但馬地域での活動を積極的に行った。

また、この年豊岡市国際交流協会が行ったモンゴル国研修生受入事業にも参加し、連携を深めることができた。

現状や今後の方針について、様々な課題に直面した一年であったといえる。

2. 平成18年度

平成18年度は開館10周年を迎える記念の年であり、特別展の開催、入館者30万人の突破、10周年記念イベントの実施など、大変内容の濃い一年となった。また、常設展示の変更や館内外のことについて、様々な取り組みができた。

開館以来減少傾向にあった利用者数についても、上

記イベントの影響により大きく増加した。また、企画展にちなんだワークショップも積極的に行うことができ、皆盛況であった。

展示事業については、特別展を1回、企画展示を3回開催した。特別展は「モンゴル大恐竜展」と題し、モンゴル国立自然史博物館に展示されている巨大肉食恐竜タルボサウルスなど37点の化石等資料を借用し、展示を行った。

企画展は、なつかしい昭和のおもちゃ「おもちゃの昭和史」、市内で行われた磁器の公募展入賞作品を集めた「出石磁器トリエンナーレ～石と炎の競演～」、但馬の教育家池田草庵を採り上げた「草庵とその時代―幕末を駆け抜けた豊岡の知識人たち―」の計3回を行った。

また、開館10周年を経過し、当館が収蔵している資料を少しでも多く公開していくため、常設展示の大幅な変更を行った。これについては今後も利用者のニーズに合った展示となるよう努めていきたいと考えている。

普及活動では、昨年同様学校教育の支援プログラムである出前授業の実施や、博物館教室の開催、学芸員実習の受入などを中心に行った。また、この年は当館の開館10周年を迎え、豊岡市民会館でのモンゴル民族音楽コンサート、10周年感謝のつどい、駐日モンゴル国大使令夫人S. ガンチメグ氏を迎えてのレセプションなどを行っている。



平成17年度 雪を纏ったチンギス・ハン像

Ⅱ. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ① たんとうの森……人口樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ② アジアの歴史と風土……新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルとよばれる移動式住居を中心に衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④ モンゴル草原の祈り……チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具等を展示
- ⑤ 伝承文化体験交流館……山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館10周年をめぐりに常設展の部分的な更新を実施した。常設展の全面更新が困難な状況にあることから、現行常設展の手直しなどを進め、より利用しやすく、より変化の見えるかたちへと変えていくよう平成18年度から取り組みを進めている。

18年度は、次のような部分について実施した。

- ① 北の民 アイヌの世界
館蔵資料の積極的な公開を目的とし、過去の企画展で展示したアイヌ民族の資料を展示した。
- ② アジアの歴史コーナー
より分かりやすく東アジアの歴史に触れられるよう、一部展示資料の入替えと解説の変更を行った。
- ③ ジオラマ遊牧の四季
四季に応じた移動をジオラマにより理解しやすく模型を製作した。
- ④ モンゴル草原の暮らしと文化
壁面展示としてワイヤーメッシュを8面取り付けた。併せてカザフ族に関するコーナーを増設、民族衣装・楽器のコーナーを一部変更した。
- ⑤ 伝承文化体験交流館の歴史コーナー
展示ケース内の全面入替えを行った。現在赤坂古墳第1号墳出土の一括資料と経筒外容器を中心とした歴

史資料を展示している。

(3) 屋外展示

① 竪穴式住居

子供たちに古代の暮らし体験ができるよう、平成15年度から設置している。中では防虫・防腐のために職員が定期的に火を焚き、燻蒸処理に努めている。

② 赤坂古墳第1号墳

7世紀後半につくられた赤坂古墳は、崩落の危険防止のため平成15年度に調査を行い、当館の屋外展示施設として移設復元した。普段目にする機会の少ない横穴式石室をのぞいて見ることのできる学習施設として活用している。

③ ヤギの飼育

モンゴルの特徴的な家畜文化を生きた形で紹介し、また動物や自然に対する理解を深める環境教育のツールとしても活用するため、敷地内にヤギ小屋を設置し飼育を行っている。現在は雌3頭を飼育している。



平成17年に誕生した双子のヤギ

(4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、職員による館内のガイドを促進している。利用者一人一人のニーズに合った解説を職員が行うことで、更に博物館を楽しんでいただきたいと従前より行ってきた活動であるが、平成17年度以降はより積極的に取り組んでいる。館内見学の一助となれるよう、利用者の興味や目的に沿った柔軟な解説を心がけている。

2. 企画展

(1) 第29回企画展 北の工芸 アイヌ木彫りの世界—熊のいる風景—

平成17年3月17日～平成17年9月13日

158日間（見学者数：13231人）

アイヌの木彫工芸品は生活用具が原点であり、それが時代とともに観光土産品の彫刻へと移り変わってきた。土産品として明治、大正、昭和初期に木彫り熊が製作され始めてから、アイヌの感性を生かしたアイヌ文様を取り入れられるようになった。

アイヌとは「人間」を意味している。北の大地の厳しさと恵みの中に人々はカムイ「神」の存在を見出し、自然とともに生きる知恵を育み伝えてきた。そして日々の生活の中で祈り、様々な儀式を行ってきたのである。今回展示している数々の民具からも、その営みと祈りを見てとることができる。

アジアの枠組で見ていくと、アイヌはモンゴル文化に隣接した地域であり、北方系民族として文化的に共通する点も多い。



第29回企画展 展示風景



第29回企画展 展示風景

(2) 第30回企画展 世界をつなぐおもちゃの旅

平成17年9月15日～平成18年1月10日

97日間（見学者数：4054人）

国が違っても同じ仕組みのおもちゃがあったり、お国柄がしのばれる楽しい形のおもちゃがあったり。おもちゃが作る小さな世界には、町も家も学校も動物園も遊園地も祭りもあり、私たち人間社会の縮図と言われている。

本展は日本玩具博物館の協力を得て世界約60カ国500点のおもちゃや人形を6地域に分け展示した。その多くが木や土、石や骨などの自然素材で作られる伝統的なおもちゃであり、民族の個性が色濃く表現されている。おもちゃを通して世界各地のいろいろな文化や民族を学び、小さなおもちゃで表現された小さな世界から、実際の大きな世界の国際理解を学ぶ機会となった。



第30回企画展 展示風景



第30回企画展 展示風景

(3) 第31回企画展 豊岡市の文化財Ⅰ

工芸品でたどるまちの文化

平成18年1月12日～平成18年4月11日

79日間(見学者数: 3729人)

新市の誕生に際し、市民に地元文化財に対する見識を深めてもらう目的で実施した。特に、市の指定を受けている文化財(工芸品)に注目し、広い市域の中で多様な風土、文化、歴史を持つ豊岡市を再発見してみようとするもの。取り組んだものである。

主な展示資料として、出石神社所蔵の経文胴の甲冑や豊岡市日高町にある久斗文楽のかしら、温泉で有名な豊岡市城崎町の麦わら細工工芸、豊岡鞆産業のもととなった杞柳細工、北前船の航海祈願に作られた竹野の飾千石船、出石の城下町絵図などがある。

それぞれのまちで大切にされてきた文化財を一堂に会し、海、山、川、平野に育まれた地域色豊かな文化が反映できるよう努めた。

今後も地域の文化や文化財に焦点を当てた展示を定期的に開催したいと考えている。

(4) 第32回企画展 おもちゃの昭和史

平成18年7月13日～平成18年10月3日

73日間(見学者数: 4470人)

大きな戦争の焼け跡から復興し、高度成長をとげた激動の時代—昭和。その64年間を彩ったおもちゃ約330点を通し、昭和という時代を振り返った。

昭和時代を4つの時期に区切り、各時期のおもちゃの特徴を、時代背景とともに紹介。ブリキやセルロイドのおもちゃ、メンコにベーゴマなどの懐かしいおもちゃから、プラスチックという新素材玩具やマスコミ玩具まで、大人にとっては懐かしい、またこどもには新鮮な世界が広がった。

展示室内にはプレイコーナーを設けたり、“駄菓子屋”や“射的屋”も開店し、見るだけでなく思いっきり昭和を楽しめる空間を作った。



第31回企画展 展示風景



第32回企画展 展示風景



第31回企画展 展示風景



第32回企画展 会場内のプレイコーナー

(5) 第33回企画展 出石磁器トリエンナーレ～石と炎の競演～

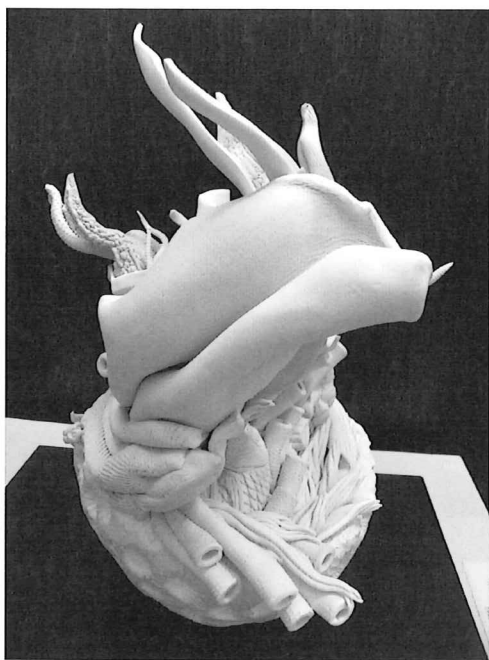
平成18年10月5日～平成18年12月12日

60日間(見学者数: 3544人)

国の伝統工芸品に指定されている白磁の名品・出石焼。その産地である豊岡市出石町で開催されている磁器のコンクール「出石磁器トリエンナーレ」がこの年5回目の開催を迎えた。これに合わせ、本展では過去の入賞作品を集め、磁器の魅力に迫った。入賞作品はどれも独創的で、磁器で作られているとは思われないユニークな造形も多くみられた。また本展では、市内にある伊藤清永美術館と共同して開催し、2館で全ての入賞作品を見学できる展示構成とした。



第33回企画展 会場風景



第33回企画展 展示作品・The cosmic plants

(6) 第34回企画展 草庵とその時代～幕末を駆け抜けた豊岡の知識人たち～

平成18年12月14日～平成19年4月17日

101日間(見学者数: 5749人)

豊岡市の文化財シリーズⅢとして開催した本展は、幕末から昭和期にかけて活躍した地域の人物像を紹介した。池田草庵は現在の養父市八鹿町宿南に生まれた教育家であり、彼の門人の中にも豊岡市出身で大成した人物が数多く見られることから、草庵がどのような人物をどのように育て、後世にどのような影響を与えたのか、検証してみた。

展示資料は主に青谿書院保存会を中心にご協力いただき、青谿書院資料館、但馬文教府、斉藤義規氏から借用した。



第34回企画展 展示風景



第34回企画展 展示風景

(7) 過去の企画展一覧

- 第1回 但東の文化財Ⅰ
- 第2回 縄文人の暮らしと文化
- 第3回 袴狭遺跡
- 第4回 但東の文化財Ⅱ
- 第5回 父さんの小さかったとき
- 第6回 人・東井義雄・但馬が生んだ情熱の教育者
- 第7回 但馬国府と但馬国分寺～発掘調査25年の成果
- 第8回 但東の文化財～大地からよみがえった祖先の足跡Ⅲ
- 第9回 モンゴルのチベット仏教
- 第10回 諸国歴史探検～奥州北部の巻
(八戸市博物館収蔵品展)
- 第11回 モンゴル草原の伝統工芸
- 第12回 但馬の虫
- 第13回 おみやげの民俗学
- 第14回 モンゴル帝国と蒙古襲来
- 第15回 但東の文化財Ⅳ～国策に散った開拓団の夢
- 第16回 DOKIDOKI 縄文ワールド!
- 第17回 但東の文化財～民・神まつり
- 第18回 但馬の高校美術・書道部顧問美術展
- 第19回 モンゴル近代絵画の魅力
(モンゴル近代絵画Ⅰ)
- 第20回 国民画家G.オドン展 (モンゴル近代絵画Ⅱ)
- 第21回 チベット仏教の影響を受けた伝統絵画
(モンゴル近代絵画Ⅲ)
- 第22回 D.ウルタナサン展 モンゴル芸術の伝統と革新 (モンゴル近代絵画Ⅳ)
- 第23回 モンゴル近代絵画の巨匠
(モンゴル近代絵画Ⅴ)
- 第24回 民主化以降の近代絵画
(モンゴル近代絵画Ⅵ)
- 第25回 モンゴルの切り絵ツールプラム
(モンゴル近代絵画Ⅶ)
- 第26回 さをり織りの世界
～出石養護学校の取り組み～
- 第27回 赤坂古墳と但東の古墳
- 第28回 但東の民具
- 第29回 北の工芸 アイヌ木彫の世界～熊のいる風景
- 第30回 世界をつなぐおもちゃの旅
- 第31回 工芸品でたどるまちの文化
(豊岡市の文化財Ⅰ)
- 第32回 おもちゃの昭和史
- 第33回 出石磁器トリエンナーレ 石と炎の競演
(豊岡市の文化財Ⅱ)
- 第34回 草庵とその時代～幕末を駆け抜けた豊岡の知識人たち～ (豊岡の文化財Ⅲ)

3. 特別展

平成18年4月15日～平成18年7月9日
70日間(見学者数:28,626人)
主催 日本・モンゴル民族博物館
後援 駐日モンゴル国大使館
監修 モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所

開館10周年を記念する特別展「モンゴル大恐竜展」は、市内の子どもたちに優れた企画展の機会を作ろうと計画されたもので、モンゴル国のゴビ砂漠で発掘された恐竜の化石を展示した。

モンゴル国はアメリカ、中国と並ぶ恐竜化石の宝庫であり、全長10メートル級の巨大恐竜や、2体の恐竜が格闘したままの状態化石となった極めて珍しい標本など、貴重な化石が多数発見されていることで有名である。

今回の資料は、群馬県のゴビサポートジャパン及びモンゴル国立アカデミー古生物学センターから、ウランバートル市にある国立自然史博物館のシンボルであるアジア最大の巨大肉食恐竜「タルボサウルス・バタール」をはじめとする化石37点以上を借用し、館内企画展示室と博物館に隣接している市立資母体育館で開催した。館内以外の施設を用いた長期の展示は当館にとって初の試みであった。会場を決定する段階では借用資料の管理や見学者への対応等多くの問題が想起されたため、当館に隣接した市立体育館も使用することとなった。



特別展 第1会場設営作業風景

会場は全長10メートルのタルボサウルス・バタールを中心にモンゴルで発掘された恐竜化石の数々が並び、この他にもモールド(複製用の型)や土に埋まっ

た状態の恐竜化石、ゴビの風景を紹介するコーナーや映像展示コーナーなど、様々な角度からモンゴルの恐竜に迫った。展示している化石はモンゴル南部の「ツグリキン・シレ」や「ネメグト」、「フルン・ドッホ」などから発掘された白亜紀後期のものが中心となった。見学者には、獣脚類の恐竜が鳥へと進化していく過程を知るとともに、今なお多くの化石が発掘されているモンゴル・ゴビ地方の現状と発掘の状況を知る機会となった。

主な展示資料

●第1会場（市立資母体育館）

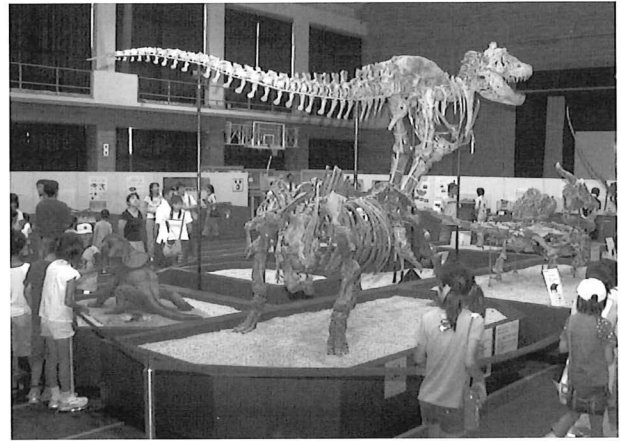
- タルボサウルス全身骨格 白亜紀後期 全長 9.6m
- タルボサウルス頭部骨格 白亜紀後期
- サウロロフス頭部骨格 白亜紀後期
- サイカニア全身骨格 白亜紀後期 全長 5.0m
- ハルピミムス全身骨格 白亜紀後期 全長 3.5m
- インゲニア全身骨格 白亜紀後期 全長 1.5m
- イグアノドン全身骨格 白亜紀後期 全長 11m
- ホマロケファレ全身骨格 白亜紀後期 全長 1.7m
- ガリミムス全身骨格 白亜紀後期 全長 3.5m
- バカケラトプス全身骨格 白亜紀後期 全長 1.0m
- ハドロサウルス幼体全身骨格
- オヴィラプトル幼体全身骨格
- 格闘化石（複製）

毛サイ全身骨格 更新世 ほか

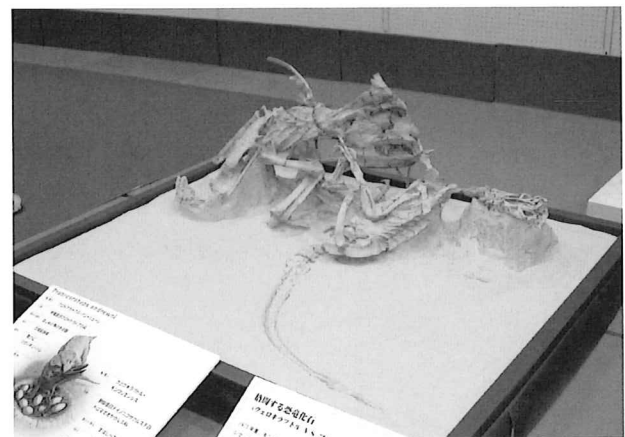
●第2会場（当館企画展示室）

- モノニクス全身骨格 白亜紀後期 全長 0.7m
- オルニトステス全身骨格 白亜紀後期 全長 2.0m
- サウロルニトイデス頭部骨格 白亜紀後期
- ヴェロキラプトル頭部骨格 白亜紀後期
- 恐竜卵化石・カメ・二枚貝化石 ほか

期間中は「恐竜の下でキャンプ」や「化石クリーニング体験」、「骨格標本のレプリカ作り」「恐竜の卵づくり」など、様々なワークショップを開催し、どれも盛況であった。また、4月に近隣で行われたチューリップ祭りやゴールデンウイークの影響もあり、親子など多数の見学者で賑わった。



特別展 展示会場風景



特別展 格闘化石



特別展 オープニングセレモニー



特別展ワークショップ レプリカ作り

Ⅲ. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料1万5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、旧但東町歴史民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資

料を収蔵している。

資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる郷土やモンゴルに関する資料をも収集対象としている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料（敬称略）

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	数 量
平成17年4月1日	J・ミャンダス	モンゴル国	キツネ毛皮製冬用帽子 タルバガン毛皮製帽子	1 1
平成17年4月16日	兵庫県産業労働部国際交流局国際交流課（モンゴル国政府要人寄贈）	兵庫県神戸市	ゲル模型 男性冬用チョッキ（ハンターツ） 小石にザクの根がからんだ置物	1 1 1
平成17年5月3日	加藤 幹男	京都府城陽市	モンゴル弓矢	13
平成17年5月12日	チ・ボラグ	中国内モンゴル自治区	CD「萬馬奔騰」	1
平成17年6月20日	三輪 倫子	東京都板橋区	女性用デール シャガイ（袋入り） モンゴル茶	1 2 1
平成17年8月5日	ムンフバヤスガラン	兵庫県神戸市	CD「モンゴル国民オーケストラ」 木製玩具（組木） 木製玩具（ピラミッド） 木製玩具（パズル） 木製玩具	1 2 1 1 1
平成17年9月17日	今井 久士	豊岡市但東町	民具（簇台）	5
平成17年11月1日	井田工務店	豊岡市但東町	大相撲のぼり（白鵬）	1
平成17年12月1日	高橋 功	群馬県神流町	肉食恐竜の爪（複製） DVD「空を夢見た恐竜たち」 図録『恐竜博2005 恐竜から鳥への進化』	1 1 1
平成18年1月27日	J・ミャンダス	モンゴル国	モンゴル将棋	1
平成18年3月22日	チョイジンラマ寺院博物館 プレブトクトホ館長	モンゴル国	ボグドケゲン8世記念プレート（1890年ロシア製）	1
平成18年11月26日	早水 博子	豊岡市但東町	女性用デール 帽子	1 1
平成19年1月14日	但馬国府・国分寺館	豊岡市日高町	御用旗（御用 測量方の染抜き）	1
平成19年1月26日	足立 昇	豊岡市但東町	焙烙 押し切り かさ付きランプ 農機具（刈取機） 農機具（溝切機）	1 1 1 1 1

(1) 図書寄贈者一覧（敬称略・順不同）

【個人】

H17 年度

もり・けん（大阪府和泉市）
真田義永（兵庫県豊岡市）
J・ミャンダス（モンゴル国）
大野旭（静岡大学人文学部社会学科）

H18 年度

森村誠一（東京都文京区）
森隆男（奈良県奈良市）
今田幸雄（兵庫県豊岡市）
榎野尚（島根県松江市）
八木秀文（兵庫県養父市）
大平茂（兵庫県神戸市）
今岡良子（大阪外国語大学モンゴル研究会）

【団体】

H17 年度

●兵庫県内

神戸大学文学部、日本玩具博物館地域子ども教室
実行委員会、加西市教育委員会、兵庫県立美術館、
太子町立歴史資料館、加東郡教育委員会、兵庫県
立人と自然の博物館、播磨町郷土資料館、北淡町
教育委員会、丹波市氷上町東地区国際交流協会、
姫路市書写の里美術工芸館、多可郡中町教育委員
会、豊岡市立出土文化財管理センター、財）辰馬
考古資料館、西脇市教育委員会、たつの市立龍野
歴史文化資料館、田淵記念館、加古川市教育委員
会、赤穂市立歴史博物館、明石市立文化博物館、
福崎町教育委員会、植村直己冒険館、朝来芸術の
森美術館、揖保郡新宮町教育委員会、三田市教育
委員会、一宮町教育委員会、養父市教育委員会、
日高町文化財を守る会、兵庫県立歴史博物館、

●京都府

峰山町教育委員会、大宮町教育委員会、京丹後市
教育委員会、久美浜町教育委員会、京都嵯峨芸術
大学附属博物館、城陽市歴史民俗資料館、京都府
立丹後郷土資料館、加悦町江山文庫、大山崎町歴
史資料館

●大阪府

大阪市立自然史博物館、NPO 法人大阪自然史セ
ンター、大阪外国語大学モンゴル研究会

●その他

北海道立北方民族博物館、徳島県立博物館、天理
大学出版部、日本ユネスコ協会連盟、滋賀県立大
学、ちくま新書

H18 年度

●兵庫県内

西脇市郷土資料館、那珂ふれあい館、大手前大学
史学研究所、神戸大学地域連携推進室、姫路市立
見野総合センター、姫路市埋蔵文化財センター、
豊岡市コウノトリ共生課、加西市教育委員会市史・
文化財室、播磨町郷土資料館、北海道立北方民族
博物館、太子町立歴史資料館、姫路市書写の里・
美術工芸館、但馬国府・国分寺館、たつの市立龍
野歴史文化資料館、加東市教育委員会生涯学習課
文化財係、赤穂市歴史博物館、豊岡市立出土文化
財センター、植村直己冒険館、福崎町立神崎郡歴
史民俗資料館、あさご芸術の森美術館、明石市立
文化博物館、兵庫県立美術館、兵庫陶芸美術館、
兵庫県教育委員会

●京都府

京都嵯峨芸術大学附属博物館、京都市考古資料館、
城陽市歴史民俗博物館、与謝野町立江山文庫

●その他

㈱クマヒラ、㈱こぐま社、徳島県立博物館、天理
大学附属天理参考館、滋賀県立大学

2. 購入資料

- | | |
|-------------------------------|-----|
| ① モンゴル国恐竜化石
オヴィラプトルの抱卵レプリカ | 1点 |
| ② 恐竜模型・ジオラマセット | 25点 |
| ③ モンゴル関係図書 | 30冊 |

3. 資料の貸出

- ① (株) イディー
博物館外観・館内写真2点
- ② (株) クリエイティブネクサス
フェルト1点、フェルト製扉1点、ホソール（馬
の汗払い）1点、ヤギの皮袋1点
- ③ 日高町国際交流協会
民族衣装デール5点、帯5点
- ④ (有) ジゲン
博物館外観写真1点
- ⑤ 但馬国府国分寺館
赤坂古墳出土土器（一括）、パネル「赤坂古墳」
1点、赤坂古墳石室模型1式
- ⑥ コウノトリ文化館（コウノトリ放鳥イベント）
民族衣装デール3点、男性用帽子1点、帯3点

- ⑦ (株) 企画センター
博物館外観・館内写真5点
- ⑧ TBS テレビ
チンギスハーン肖像画(データ)
- ⑨ 兵庫県陶芸美術館
古丹波焼2点

4. 資料の燻蒸

平成17年度は年2回、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系の乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内においても年3回蒸散剤を設置し殺虫・防虫処理を実施している。

5. 備品の寄贈

平成18年12月21日但東ライオンズクラブから下記の物品を寄贈頂いた。

- ・ビクター29インチテレビ 1台
- ・シャープDVDプレーヤー 1台

これらの物品は館内で情報提供のために活用している。

IV. 普及教育事業

1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では教員と協同し持参した博物館資料を活用するなどして、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

平成17年度は市町合併した関係で、豊岡市および近隣の但馬管内の学校を中心に、幼稚園・小学校・中学校25校で合計1436人を対象に出前授業を実施した。

平成18年度は豊岡市内を中心に、小学校24校で合計863人を対象に行った。

●平成17年度

- ① 10月13日 福知山市立精華小学校 全校生74名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ② 10月26日 丹波市立東小学校 5年生56名
「モンゴルを知ろう」 (金津)
- ③ 11月29日 西宮市立南甲子園小学校 2年生140名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ④ 11月29日 西宮市立春風小学校 2年生135名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑤ 1月19日 神戸市立美賀多台小学校 2年生116名
「スーホの白い馬」 (渡辺明・山本)
- ⑥ 1月23日 神戸市立長坂小学校 2年生167名
「スーホの白い馬」 (橋本・山本)
- ⑦ 1月26日 養父市立伊佐小学校 2年生24名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)

- ⑧ 1月27日 朝来市立東河小学校 2年生15名
「スーホの白い馬」 (金津)
- ⑨ 1月30日 豊岡市立五荘小学校 2年生135名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑩ 2月7日 豊岡市立田鶴野小学校 2年生34名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑪ 2月9日 豊岡市立神美小学校 2年生25名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑫ 2月10日 朝来市立糸井小学校 2年生28名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑬ 2月13日 豊岡市立八条小学校 2年生55名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑭ 2月16日 豊岡市立中竹野小学校 全校生42名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑮ 2月17日 朝来市立山口小学校 2年生38名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑯ 2月20日 朝来市立生野小学校 2年生34名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑰ 2月21日 朝来市立枚田小学校 2年生51名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑱ 2月23日 朝来市立粟鹿小学校 2年生15名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑲ 2月24日 豊岡市立日高小学校 2年生75名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑳ 2月27日 豊岡市立小野小学校 2年生12名
「スーホの白い馬」 (橋本・渡辺明)
- ㉑ 2月28日 豊岡市立城崎小学校 2年生41名

- ② 3月6日 「スーホの白い馬」 (山本) 朝来市立竹田小学校 2年生 30名
- ③ 3月7日 「スーホの白い馬」 (柴田) 豊岡市立奈佐小学校 2年生 8名
- ④ 3月13日 「スーホの白い馬」 (渡辺律) 養父市立関宮小学校 2年生 38名
- ⑤ 3月17日 「スーホの白い馬」 (渡辺律) 豊岡市立新田小学校 2年生 48名
- ⑥ 「スーホの白い馬」 (柴田)

- ⑦ 3月8日 朝来市立栗鹿小学校 2年生 18名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑧ 3月9日 朝来市立大蔵小学校 2年生 44名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑨ 3月12日 朝来市立山口小学校 2年生 25名
「スーホの白い馬」 (渡辺明)
- ⑩ 3月13日 養父市立養父小学校 2年生 29名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑪ 3月15日 豊岡市立奈佐小学校 2年生 11名
「スーホの白い馬」 (渡辺明)
- ⑫ 3月16日 京丹後市立長岡小学校 2年生 14名
「スーホの白い馬」 (柴田)

●平成 18 年度

- ① 5月22日 豊岡市立資母小学校 6年生 22名
「縄文人の暮らしと縄文土器」(金津)
- ② 2月2日 豊岡市立福住小学校 2年生 28名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ③ 2月5日 新温泉町立八田小学校 全校生 35名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ④ 2月6日 豊岡市立五荘小学校 2年生 136名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑤ 2月8日 豊岡市立小野小学校 1・2年生 28名
「スーホの白い馬」 (渡辺明)
- ⑥ 2月9日 養父市立浅野小学校 1・2年生 20名
「スーホの白い馬」 (橋本)
- ⑦ 2月13日 豊岡市立港西小学校 1・2年生 39名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑧ 2月15日 朝来市立東河小学校 2年生 22名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑨ 2月16日 豊岡市立神美小学校 2年生 26名
「スーホの白い馬」 (橋本)
- ⑩ 2月19日 豊岡市立三方小学校 2年生 30名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑪ 2月20日 豊岡市立田鶴野小学校 2年生 36名
「スーホの白い馬」 (渡辺明)
- ⑫ 2月22日 養父市立関宮小学校 2年生 36名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑬ 2月26日 豊岡市立八条小学校 2年生 54名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑭ 2月27日 豊岡市立日高小学校 2年生 64名
「スーホの白い馬」 (山本)
- ⑮ 3月1日 養父市立八鹿小学校 2年生 58名
「スーホの白い馬」 (渡辺律)
- ⑯ 3月2日 新温泉町立浜坂北小学校 2年生 37名
「スーホの白い馬」 (渡辺明)
- ⑰ 3月5日 豊岡市立三江小学校 2年生 34名
「スーホの白い馬」 (柴田)
- ⑱ 3月6日 豊岡市立合橋小学校 2年生 17名
「スーホの白い馬」 (橋本)



出前授業風景 豊岡市立小野小学校

2. 体験教室・講座の開催

開催日、教室・講座名、参加者数、講師名の順に記載

●平成 17 年度

- ① 7月26日 図書館おはなし広場 15名
豊岡市立図書館
- ② 7月29日 華道教室 5名
西村強甫氏
- ③ 7月30日 茶道教室 6名
大石朝美氏
- ④ 8月1日 オリジナルグラスをつくろう 8名
モンゴル博物館職員
- ⑤ 8月2日 革でつくってみよう 4名
モンゴル博物館職員
- ⑥ 8月18日 茶道教室 9名
大石朝美氏
- ⑦ 8月23日 七宝焼教室 4名
モンゴル博物館職員
- ⑧ 8月25日 博物館お泊り会 8名
～26日 モンゴル博物館職員

- ⑨ 8月27日 華道教室 4名
西村強甫氏
- ⑩ 8月30日 ミュージアム探検隊 13名
モンゴル博物館職員
- ⑪ 2月5日 たんとう雪まつり 168名
モンゴル博物館協力会
豊岡市教育委員会但東分室
モンゴル博物館職員
- ⑫ 3月10日 馬頭琴ミニコンサート 15名
ヨンドン・ネルグイ氏
- ⑬ 3月12日 馬頭琴ミニコンサート 40名
ヨンドン・ネルグイ氏
- ⑭ 3月13日 馬頭琴ミニコンサート 42名
ヨンドン・ネルグイ氏

合計 14講座 341名



博物館お泊り会



茶道教室



オリジナルグラスを作ろう



たんとう雪まつり

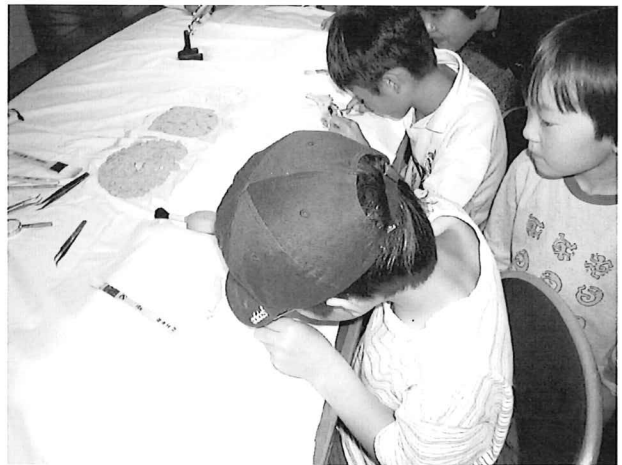
●平成18年度

- ① 5月14日 化石クリーニング体験
モンゴル博物館職員
- ② 5月27日 化石クリーニング体験とペーパークラフト作り 32名
モンゴル博物館職員
- ③ 5月28日 化石クリーニング体験
モンゴル博物館職員
- ④ 6月3日 化石レプリカ作り 13名
モンゴル博物館職員
- ⑤ 6月4日 化石クリーニング体験
モンゴル博物館職員
- ⑥ 6月10日 恐竜をスケッチ 18名
松尾隆氏
- ⑦ 6月11日 化石クリーニング体験
モンゴル博物館職員
- ⑧ 6月17日 博物館キャンプ 恐竜の下で寝てみよう! 9名
～18日 モンゴル博物館職員

- ⑨ 6月18日 化石クリーニング体験
豊田和久氏
- ⑩ 6月24日 恐竜のペーパークラフト作り 21名
モンゴル博物館職員
- ⑪ 6月25日 化石クリーニング体験
豊田和久氏
- ⑫ 7月1日 恐竜の卵を作ろう 21名
モンゴル博物館職員
- ⑬ 7月2日 化石クリーニング体験
豊田和久氏
- ⑭ 7月9日 恐竜の卵を作ろう 58名
加藤愛子氏、坂岡明美氏
モンゴル博物館職員
- ⑮ 7月10日 恐竜の卵を作ろう 57名
モンゴル博物館職員
- ⑯ 8月3日 恐竜の卵を作ろう 6名
モンゴル博物館職員
- ⑰ 8月12日 勾玉をつくろう 11名
モンゴル博物館職員
- ⑱ 8月18日 手づくりおもちゃを作って遊ぼう 11名
モンゴル博物館職員
- ⑲ 8月25日 七宝焼をつくろう！ 8名
モンゴル博物館職員

合計 19講座 265名

※化石クリーニング体験については、不特定多数の特別展見学者に参加いただいたもので、参加者数を集計していない。



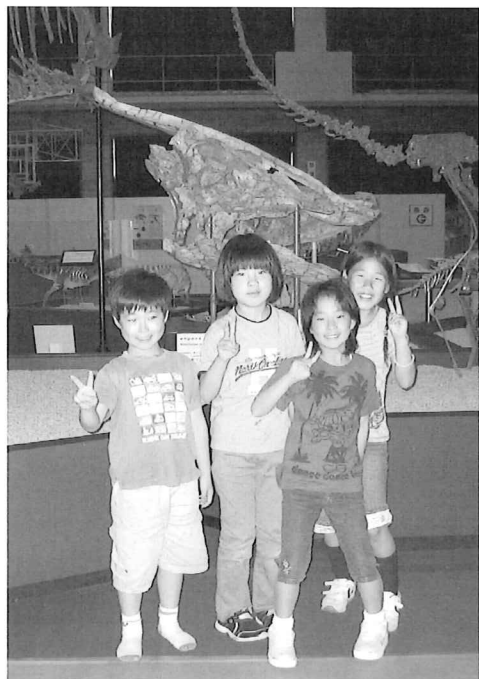
化石クリーニング体験



手づくりおもちゃを作って遊ぼう



勾玉をつくろう



恐竜の下でキャンプ（宿泊体験）

3. 講師派遣

館外からの依頼を受けて行った講師派遣等を、月日・担当者・依頼者・内容の順に記す。なお、小・中学校からの依頼による出前授業については、普及教育事業1. 出前授業に記載している。

●平成17年度

- ① 5月9日 金津匡伸 但馬小学校長会
『地方に暮らして世界を視る』
- ② 6月17日 金津匡伸 但馬派遣社会教育主事研修会
『日本・モンゴル民族博物館の取り組みについて』
- ③ 6月21日 金津匡伸 兵庫県いなみ野学園教養講座
『地方に暮らして世界を視る』
- ④ 7月13日 金津匡伸 出石警察署
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑤ 8月20日 金津匡伸 網走管内博物館連絡協議会
『国際理解学習と博物館』
- ⑥ 8月21日 金津匡伸 北海道立北方民族博物館
『遊牧民の家 ゲル』
- ⑦ 9月6日 金津匡伸 福知山西南ロータリークラブ
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑧ 10月6日 金津匡伸 出石中学校PTA 研修会
『人権教育』
- ⑨ 10月14日 金津匡伸 近畿地区ダム主任技術者大会
『モンゴルの暮らし』
- ⑩ 2月19日 金津匡伸 多田地営農組合
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑪ 3月5日 金津匡伸 日高公民館
『土器作り』

●平成18年度

- ① 5月27日 金津匡伸 弘道地区公民館
『モンゴルの大恐竜』
- ② 6月6日 金津匡伸 兵庫県いなみ野学園大学講座
『地方に暮らして世界を視る』
- ③ 6月17日 金津匡伸 但馬青少年本部
『但馬に暮らして世界を視る』
- ④ 7月15日 金津匡伸 志高塾
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑤ 7月29日 金津匡伸 豊岡市内保育園研修会
『但馬に暮らして世界を視る』
- ⑥ 8月1日 金津匡伸 国府地区公民館
『オオサンショウウオと土鈴作り』
- ⑦ 8月5日 金津匡伸 資母地区公民館
『はばタン・メダル作り』
- ⑧ 8月9日 金津匡伸 合橋地区公民館

『はばタン・メダル作り』

- ⑨ 8月10日 金津匡伸 弘道地区公民館
『オオサンショウウオについて』
- ⑩ 8月19日 金津匡伸 日高地区公民館
『オオサンショウウオについて』
- ⑪ 8月21日 金津匡伸 西気地区公民館
『オオサンショウウオと土鈴作り』
- ⑫ 8月24日 金津匡伸 高橋地区公民館
『はばタン・メダル作り』
- ⑬ 8月28日 金津匡伸 伊丹市アイフォニック文化サロン
『モンゴルの暮らしと文化』
- ⑭ 9月2日 金津匡伸 高橋地区公民館
『恐竜のタマゴ』
- ⑮ 11月5日 金津匡伸 但馬史研究会
『但東の歴史と民俗』
- ⑯ 11月18日 金津匡伸 豊岡市立小野小学校PTA
全校生・保護者
『「スーホの白い馬」の世界』
- ⑰ 12月3日 金津匡伸 全国子供会連合会研修会
『地域で育つ子どもたち』
- ⑱ 1月19日 山本龍馬・渡辺明子 豊岡市立竹野南小学校PTA 全校生・保護者
『モンゴルの暮らし』

4. 原稿の依頼

但馬管内にある博物館を積極的に広報していくことから、但馬国府・国分寺館加賀見省一館長と当館金津により半年間26回に渡って「博物館へ行こう」を執筆連載した。また、中国上海市にある出版社からの依頼によるモンゴル旅行冊子「World walker Mongolia 2006」に「チンギスハーンとモンゴル帝国」を掲載し、想像以上の周知効果があった。

- ① 6月26日 博物館へ行こう1 伊藤清永美術館
朝日新聞但馬版
- ② 7月10日 博物館へ行こう3 日本・モンゴル民族博物館
朝日新聞但馬版
- ③ 7月24日 博物館へ行こう4 ブルー・ミュージアム
朝日新聞但馬版
- ④ 8月14日 博物館へ行こう7 木の殿堂
朝日新聞但馬版
- ⑤ 8月28日 博物館へ行こう9 あさご芸術の森美術館
朝日新聞但馬版
- ⑥ 9月4日 博物館へ行こう10 御用地館
朝日新聞但馬版
- ⑦ 10月9日 博物館へ行こう14 東井義雄記念館
朝日新聞但馬版
- ⑧ 10月16日 博物館へ行こう15 但馬牛博物館

朝日新聞但馬版

- ⑨ 10月30日 博物館へ行こう 17 コウノトリ文化館
朝日新聞但馬版
- ⑩ 11月20日 博物館へ行こう 20 城崎美術館
朝日新聞但馬版
- ⑪ 11月27日 博物館へ行こう 21 玄武洞ミュージアム
朝日新聞但馬版
- ⑫ 12月4日 博物館へ行こう 22 城崎文芸館
朝日新聞但馬版
- ⑬ 12月18日 博物館へ行こう 24 円山川公苑美術館
朝日新聞但馬版
- ⑭ 12月25日 博物館へ行こう 26 大乘寺
朝日新聞但馬版
- ⑮ 1月9日 企画展に寄せて 京都嵯峨芸大博物館年報
(平成18年度)
- ① 6月16日 チンギスハーンとモンゴル帝国 World
walker Mongolia 2006

5. 博物館実習生の受入

当館では、大学からの依頼により、博物館実習生を受入れることにし、基本的に夏休み期間中に実習を行っている。博物館実習のカリキュラムは下記のとおりで、職員全員が指導にあたり、資料の整理や調査方法などについて実習を行った。

●主な実習内容

ガイダンス、博物館の管理と運営、館内施設見学、博物館受付実習、博物館資料の取り扱い、考古資料の拓本・実測、博物館資料の写真撮影、展示解説実習、体験教室補助実習、他館類似施設の見学

平成17年度は、8月に実習生の受入を行った。実習生は2人で、大学別の内訳は次のとおりである。

①都留文科大学文学部 1名

8月7日～8月18日 10日間

②北海道教育大学教育学部地域環境教育課程 1名

8月18日～8月30日 12日間

平成18年度の実習生は2名で、いずれも通信制の学生である。

①八洲学園大学生涯学習学部人間開発教育課程 1名

5月24日～5月29日 6日間

②八洲学園大学生涯学習学部人間開発教育課程 1名

11月7日～11月13日 6日間



平成17年度博物館実習風景（展示作業）



平成18年度博物館実習風景（考古学資料の実測作業）

6. 教員のための研修

豊岡市教育委員会からの依頼により、市内に勤務する幼稚園・小学校・中学校教員対象の職場体験「先生のトライやる」を実施し、当館職員が指導に当たった。教員に博物館業務を体験してもらうことによって、博物館に対する理解を高めることができた。



「先生のトライやる」研修風景（展示作業）

7. こども放送局の放映

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステム（エル・ネット）子供方消極受信設備を平成11年度から設置しており、平成17年度・18年度もその利用を行っている。

8. 情報の発信と公開

博物館を有効に活用する利用が増えるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは博物館にとって重要な活動の一つである。最近インターネットによる情報発信も重要な手段になっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

(1) 博物館の広報活動

- ①博物館案内等の主な定期発送先
小学校 190校 中学校 70校 高等学校 11校
報道関係機関等 9社
- ②報道機関への資料提供
- ③旅行会社への資料提供

(2) テレビ・ラジオへの出演等

博物館事業のPR等のためのテレビ・ラジオへの出演等を、月日・出演者・内容の順に記す。

(3) インターネットによる情報提供

- ①電子メール
- ②ホームページ

インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供の可能性を探ってきた。平成11年8月16日よりホームページを開設している。
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>
ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップ

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。

V. 国際交流事業

1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入や豊岡市（旧但東町）国際交流事業の協力支援、各種イベントの開催など、開館以前より多くの方との関わりのもと継続して行ってきた。平成17年度・18年度についても研修生の受入れやモンゴル民族音楽コンサートの開催、博物館開館10周年記念イベントでの駐日モンゴル国大使令夫人の来訪など、様々な事業を行った。

- ①平成17年4月22日
豊岡市国際交流協会合併記念イベントへの協力
- ②平成17年10月7日～10月17日
豊岡市国際交流協会モンゴル交流研修生等受入事業での研修の実施
(出前授業の実施、館内展示物の装飾等)
- ③平成18年3月9日～3月17日

モンゴル国馬頭琴奏者 E. ネルグイ氏、西村幹也氏博物館内で馬頭琴のミニコンサートを開催

④平成18年8月

モンゴル国陶芸家ムンフバートル氏、博物館で陶芸作品を制作

⑤平成18年11月4日

市民会館にて「イフ・ガザル」によるモンゴル民族音楽コンサート開催

⑥平成18年11月5日

開館10周年感謝のつどい開催、駐日モンゴル国大使令夫人来豊（11月4日～5日）

⑦平成19年2月27日

奥田副市長、モンゴル国政府より友好勲章（ナイラムダル・メダル）を、エンフバヤル大統領より東京にて直接頂く。

⑧平成19年3月4日

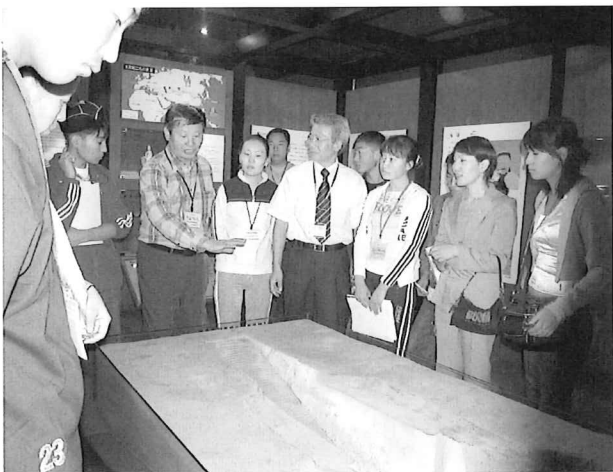
E. ネルグイ氏、L. クグルシン氏、西村幹也氏、館内にてミニコンサートを実施、出前授業に同行

2. モンゴル国研修生の受入

平成17年10月、市国際交流協会主催の子どもたちを対象にしたモンゴル国研修生受入事業が、適正、円滑、かつ、効果的に実施されるよう、各種の支援事業を行った。

研修生は15歳から18歳までの中学生から高校生を中心に、モンゴル・豊岡シルクロード友好協会のバヤンムフ会長（モンゴル相撲大横綱）とデンベレル事務局長、モンゴル国環境省職員など多彩なメンバーで構成されていた。

研修生一行は、豊岡市が取り組んできたコウノトリ放鳥事業や環境に対する取り組みについて学んだ。市内の小学校や中学校に出前授業にでかけ、自国文化を積極的に伝えていた。県立出石高校では放課後のクラブ活動に参加することができた。約10日間にわたる滞在期間中、市内各所で開催された秋祭りをホストファミリーとともに堪能することができ、より深く日本理解ができた。



平成17年度モンゴル国研修生

4. 開館10周年記念イベントの開催

平成18年度は日本・モンゴル民族博物館開館10周年を迎える記念の年であった。10年間の歩みを振り返るとともに、支援いただいている多くの関係者、来館者の皆様に感謝の意を込めて、11月4日・5日に開館10周年記念イベントを開催した。

モンゴル民族歌舞団「イフ・ガザル〜大地」を招聘し、11月4日、市民会館でコンサートを開催した。

翌5日には、駐日モンゴル国大使令夫人S. ガンチメグ氏らの訪問を受け、またウランバートルからお祝いに駆けつけてくれたモンゴル豊岡シルクロード友好

協会の関係者らとともに10周年を盛り上げていただいた。この日は、イフ・ガザルによる屋外コンサートや、餅つき、ゲーム大会などのアトラクションを行った。夜には中貝市長らを交えたレセプションを行った。



開館10周年記念イベント

3. モンゴル人陶芸家ムンフバートル氏の来訪

平成18年8月、モンゴル国立造形美術大学で教鞭をとっていた陶芸家のオチル・ムンフバートル氏が訪れ、約1ヶ月間に渡り創作活動を行った。展示資料のレプリカやミュージアムグッズの型製作などを協力いただいた。

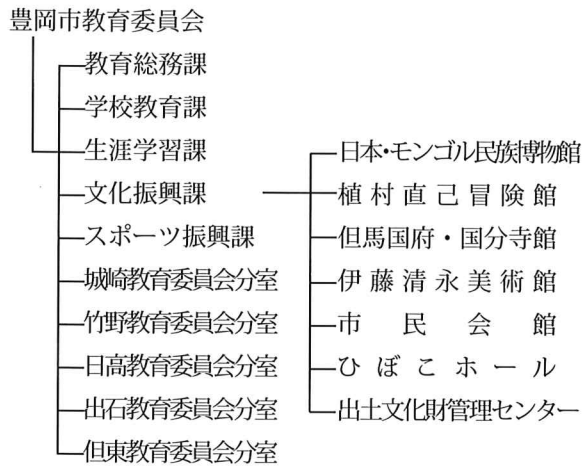


ムンフバートル氏とその家族

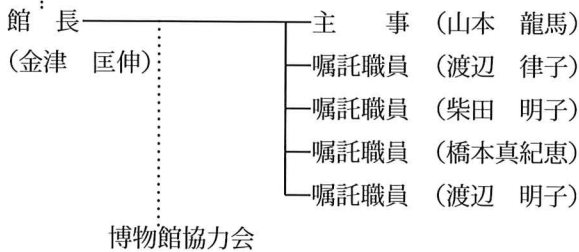
VI. 管理運営

1. 組織・職員（平成18年3月31日現在）

(1) 組織



顧問（福田 芳郎）



(2) 職員

- 館長 金津 匡伸（平成8年11月～）
（文化振興課参事）
- 主事 山本 龍馬（平成16年1月～）
- 嘱託職員 渡辺 律子（平成8年11月～）
- 嘱託職員 柴田 明子（平成13年4月～）
- 嘱託職員 橋本真紀恵（平成17年4月～）
- 嘱託職員 渡辺 明子（平成17年4月～）

(3) 事務分掌

- 金津 匡伸 管理運営、常設展示・企画展示に関する
こと、講師の派遣に関する
こと、モンゴル国との国際交流、
モンゴル関係団体との連絡調整、
文化財の調査研究、文化財保護
に関すること
- 山本 龍馬 館の庶務、歳入歳出及び経理、
常設展示、企画展示、出前授業
及び講師派遣に関する
こと、各種教室・講習会の開
催
- 渡辺 律子 歳入歳出及び経理、受付
及び案内、常

設展示・企画展示に関する
こと、館内外の管理に関する
こと

柴田 明子 ミュージアムショップに関する
こと、受付及び案内、各種教室・
講習会の開催、館内外の管理
に関する
こと

橋本真紀恵 文書の管理、受付及び案内、
博物館協力会に関する
こと、館内外の管理に関する
こと

渡辺 明子 文書の管理、受付及び案内、
ホームページの管理、館内外
の管理に関する
こと

2. 予算の概要（決算額）

単位：千円（百円以下四捨五入）

平成17年度

[人件費] 17,070

①報酬 5,555（嘱託職4名）

②給与 5,496（一般職2名）

③職員手当等 4,178（扶養手当318、調整手当
313、通勤手当223、時間外勤務手当195、管
理職手当443、期末手当2,045、勤勉手当509、
寒冷地手当132）

④共済費 1,841

[管理費] 14,319

①旅費 538

②需用費 10,030（消耗品費1,109、燃料費77、
印刷製本費513、光熱水費6,588、修繕料1,712、
飼料費31）

③役務費 603（通信運搬費513、手数料45、保
険料・共済基金分担金45）

④委託料 2,012（電気保安点検197、自動ドア点
検120、芝生管理300、屋外施設管理38、全館・
外壁清掃475、警備230、資料燻蒸258、除雪
394）

⑤使用料 860

⑥備品購入費 226

⑦負担金、補助及び交付金 31

⑧公課費 19

[活動費] 2,502

①報償費 68

②旅費 8

③需用費 2,426（消耗品費2,409、食糧費12、
印刷製本費5）

平成 18 年度

[人件費] 24,604

- ①報酬 7,665 (嘱託職 4 名)
- ②給与 7,507 (一般職 2 名)
- ③職員手当等 6,360 (扶養手当 345、通勤手当 298、時間外勤務手当 403、管理職手当 593、期末手当 3,702、勤勉手当 977、寒冷地手当 42)
- ④共済費 3,072

[管理費] 17,358

- ①旅費 96
- ②需用費 8,036 (消耗品費 797、燃料費 90、印刷製本費 121、光熱水費 6,336、修繕料 655、飼料費 37)
- ③役務費 617 (通信運搬費 523、手数料 1、保険料等 93)
- ④委託料 1,770 (電気保安点検 195、自動ドア点検 59、消防設備点検 31、芝生管理 300、屋外施設管理 90、全館・外壁清掃 347、警備 484、資料燻蒸 243、除雪 21)
- ⑤使用料 794
- ⑥工事請負費 5,995
- ⑦負担金、補助及び交付金 31
- ⑧公課費 19

[事業費] 12,139

- ①報償費 160
- ②旅費 24
- ③需用費 3,279 (消耗品費 2,916、食糧費 10、印刷製本費 93 修繕料 260)
- ④役務費 66 (保険料 66)
- ⑤委託料 8,060 (業務委託料 特別展 7,560、企画展 500)
- ⑥備品購入費 550

3. 利用状況

当館は平成 8 年 11 月 3 日に開館し、10 周年を迎え利用者数は平成 19 年 3 月末累計で 310,446 名となった。平成 17 年度は開館日数が 308 日で、計 19,762 名となり、平成 18 年度は開館日数が 302 日で、計 41,239 名であった。

平成 17 年度利用者数は前年度と比べ 7.3% の減少傾向にあったが、平成 18 年度になると特別展の影響もあり大幅に増加し、17 年度と比べ 208.7% の伸びとなった。利用者数の推移及び内訳は以下のとおりである。参考として過去の利用者状況も記載する。

【平成 14 年度 (開館日 : 310 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	478	411	268	451	698	354	276	243	153	125	276	212	3,945
一 般	2,560	1,465	806	653	1,194	921	982	1,587	829	444	930	909	13,280
高 大	35	27	7	22	70	25	151	12	14	3	6	41	413
小 中	447	105	22	54	195	43	22	57	49	20	72	120	1,206
そ の 他	1,786	657	327	255	626	349	6,247	449	301	151	408	625	12,203
計	5,306	2,660	1,430	1,435	2,783	1,692	7,705	2,348	1,346	743	1,692	1,907	31,047
1日平均	189	102	55	55	99	65	285	90	58	32	70	70	100

【平成 15 年度 (開館日 : 308 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	211	238	413	422	620	207	702	349	173	167	295	386	4,183
一 般	2,657	1,468	952	633	1,230	889	1,152	1,072	467	385	670	685	12,260
高 大	223	23	10	12	74	8	6	8	9	7	34	37	451
小 中	275	77	24	50	197	35	17	41	33	16	54	101	920
そ の 他	1,915	530	623	441	502	332	502	435	210	226	623	379	6,718
計	5,281	2,336	2,022	1,158	2,623	1,471	2,379	1,905	892	801	1,676	1,588	24,532
1日平均	196	87	78	60	97	57	92	73	39	35	67	61	80

【平成16年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	389	261	280	450	571	313	227	361	229	181	178	276	3,716
一 般	2,307	1,073	674	488	857	612	683	557	441	330	490	611	9,123
高 大	18	29	3	13	50	30	5	6	13	1	14	5	187
小 中	336	120	10	32	120	32	14	16	15	22	89	130	936
そ の 他	2,941	528	360	471	526	173	341	461	227	177	683	454	7,342
計	5,991	2,011	1,327	1,454	2,124	1,160	1,270	1,401	925	711	1,454	1,476	21,304
1日平均	222	75	53	54	79	45	47	54	40	31	61	57	69

【平成17年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	263	204	209	270	456	247	271	298	146	72	114	297	2,847
一 般	1,486	905	572	464	749	444	723	571	344	224	503	592	7,577
高 大	14	7	3	10	48	14	17	5	0	2	9	38	167
小 中	603	81	18	59	142	27	24	8	14	14	41	73	1,104
そ の 他	4,718	383	287	210	505	141	301	560	167	160	602	573	8,067
計	6,544	1,580	1,089	1,013	1,900	873	1,336	1,442	672	472	1,269	1,573	19,762
1日平均	242	59	44	38	73	34	50	58	28	20	53	61	64

【平成18年度（開館日：302日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	873	381	297	405	381	209	127	159	125	150	157	175	3,439
一 般	5,952	4,069	2,138	1,306	938	630	801	1,040	420	416	646	589	23,044
高 大	43	87	21	19	57	6	2	7	3	0	13	29	287
小 中	1,049	887	192	229	199	29	31	39	18	29	126	93	2,921
そ の 他	7,210	2,493	1,516	1,147	630	346	353	740	208	186	454	364	15,647
計	15,127	7,917	4,164	3,106	2,205	1,220	1,314	1,985	774	781	1,396	1,250	41,239
1日平均	560	377	160	115	85	47	49	79	34	34	58	46	137

参) 過去平成8年度～平成13年度の開館日数及び利用者数

年 度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
開館日数(日)	123	307	307	308	307	308
利用者数(人)	15,803	38,738	31,034	26,722	29,178	31,087
1日平均(人)	128	126	101	86	95	100

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。

また、博物館協会の皆さんにも芝生や植木の管理などの館外の美化に協力をいただいた。

(2) 補修工事

① 空調機修繕（平成17年10月）

館内空調機の点検及び一部修繕を行った。

② 外壁補修工事（平成19年1月～3月）

近年外壁の劣化が目立つようになっており、本年度は北側壁面及び機械室壁面のクラック補修及び塗装を行った。

③ ヤギ小屋修繕

冬季の積雪とヤギ小屋裏手のり面の土砂流出に備え敷地内に設置しているヤギの飼育小屋の軽微な修繕を行った。

④ アサガオのエコ・カーテン設置

A棟西側の図書コーナーは全面ガラス張りとなっているため、夏になると常に日差しが強くなり込む状態である。平成18年の夏季のみ、アサガオによる壁面緑化「緑のエコ・カーテン」をA棟西側ガラス面40mにわたって施行した。緑のエコ・カーテンは直射日光を遮り、見た目にも涼しく、エアコンの電気代節減、CO2削減にもつながるものである。



アサガオのエコ・カーテン

5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声が上がリ、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館職員OBが顧問となる役員構成になっている。

平成17年・18年の活動内容は以下のとおりである。

●平成17年

(1) 役員

会長 宮垣 三二 常任理事 塩川 剛三
理事 13名 顧問 8名

(任期：平成17年1月1日～17年12月31日)

(2) 活動内容

① 各種事業への協力

博物館事業（かまくら作り）にて参加者へのうどん・餅の提供、会場設営準備などの協力をいただいた。

② 特産物販売所の管理・運営

4月3日から11月27日まで延べ51日、博

物館前の販売所にて観光案内と物産販売を行い、ボランティア延べ109名の協力を得た。

③ 博物館入館者への野菜の無償提供

④ 博物館の夜間ライトアップ

資母振興基金及び豊岡市地域特性事業の助成を受け、博物館建物正面及び騎馬像を照らす照明設備3基を寄贈いただいた。

⑤ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草作業を年間2回ボランティアで行っていただいた。

●平成18年

(1) 役員

会長 宮垣 三二 常任理事 塩川 剛三
理事 13名 顧問 6名

(任期：平成18年1月1日～18年12月31日)

(2) 活動内容

① 恐竜展ボランティア

特別展第1会場市立資母体育館内の監視業務及び案内を協力いただいた。

期間：平成18年4月22日～7月2日

協力者数：延べ50名

② 各種事業への協力

平成18年11月5日、日本・モンゴル開館10周年記念事業において餅つきの実施及び来場者への振る舞いを行っていただいた。

その他、各種開催事業への協力を頂いた。

③ 特産物販売所の管理・運営

4月9日から11月26日まで延べ47日、博物館前の販売所にて観光案内と地域で生産している物産販売を行い、ボランティア延べ99名の協力を得た。

④ 博物館利用者への野菜の無償提供

⑤ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草作業を年間2回ボランティアで行っていただいた。

6. 各種委員会委員等の受諾

平成17・18年度に博物館職員が委嘱を受けた各種委員会、協会役員等は次のとおり。

金津 匡伸

① 兵庫県博物館協会理事（平成14年4月～）

② 但馬博物館連絡会会長（平成18年6月～）

③ 国史跡茶すり山古墳整備委員会委員

（平成17年8月～）

- ④ 出石川オオサンショウウオ保護委員会オブザーバー

(平成 17 年 7 月～)

平成 18 年 7 月 4 日 研修会
ミュージアムポスターの作成・配布

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、現在 142 館が加盟している。県立歴史博物館が事務局館を務めている。当館は平成 14 年 4 月より理事館になっている。

① 平成 17 年度事業

平成 17 年 5 月 26 日 第 1 回理事会

平成 17 年 6 月 16 日 総会

平成 17 年 6 月 16 日 第 1 回研修会

平成 17 年 12 月 1 日 第 2 回研修会

平成 18 年 2 月 15 日 研究会

会員名簿の作成

もよおしガイドの作成・配布

兵庫県博物館協会ホームページの更新

② 平成 18 年度事業

平成 18 年 5 月 25 日 第 1 回理事会

平成 18 年 6 月 15 日 総会

平成 18 年 11 月 9 日 第 2 回理事会

平成 18 年 11 月 9 日 第 2 回研修会

平成 19 年 2 月 22 日 研究会

会員名簿の作成

もよおしガイドの作成・配布

ホームページの更新

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成 9 年 4 月 25 日に設立され、平成 18 年 3 月末現在で 19 館が加盟している。当館は平成 9 年 4 月に加盟し、その後幹事館となり、平成 18 年 6 月より当館が事務局を務めている。

① 平成 17 年度事業

平成 17 年 5 月 13 日 委員会

平成 17 年 5 月 23 日 総会

平成 17 年 7 月 14 日 研修会

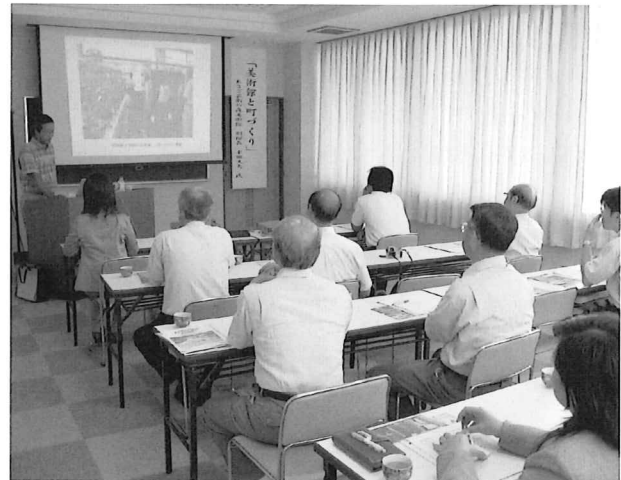
ミュージアムマップの作成

ホームページ、但馬の博物館活用プログラムの更新

② 平成 18 年度事業

平成 18 年 5 月 18 日 委員会

平成 18 年 5 月 26 日 総会



平成 18 年度但馬地域博物館連絡会研修会

8. 入館者 30 万人の突破

平成 18 年 8 月 25 日、入館者 30 万人を記録した。この記念すべき 30 万人目の入館者は岡山市の上西文雄様で、中貝豊岡市長とともにくす玉を割ったほか、認定証の授与、記念品の贈呈などが行われた。



認定証を授与された上西様夫妻 (中央)・中貝市長 (左)

9. 博物館日誌抄

平成 17 年度、18 年度の主な出来事を日報より抜粋して記載する。

●平成 17 年度

4 月 1 日	辞令交付式、本日より「豊岡市」	7 月 7 日	千種町文化協会 23 名来館
4 月 3 日	博物館前販売所営業開始	7 月 11 日	新田地区高齢者学級 36 名来館
4 月 5 日	(株) ファイル 21 取材	7 月 23 日	「植村直己に学ぶ」サバイバル体験教室 39 名が芝生でキャンプ、細井千裕氏モンゴル語書籍整理登録(～9月)
4 月 11 日	読売新聞取材	7 月 26 日	図書館おはなしひろば実施
4 月 15 日	チューリップまつり開園	7 月 28 日	井上良一設計事務所来館、シルバー人材センター除草作業、外壁清掃
4 月 19 日	小坂保育園 40 名遠足	7 月 29 日	華道教室実施
4 月 21 日	神戸新聞取材	7 月 30 日	茶道教室実施
4 月 22 日	合橋幼稚園・小学校 54 名遠足	8 月 1 日	オリジナルグラス作り教室実施
4 月 28 日	京丹後市立久美浜中学校 74 名校外学習来館	8 月 2 日	革でつくろう!! 教室実施
5 月 10 日	FM ジャングル取材	8 月 4 日	朝来市教育委員会田畑基氏来館
5 月 12 日	スーチンドロン氏、馬頭琴奏者チ・ボラグ氏来館、神戸新聞企画展取材、豊岡市議会議員(会派ひだか)14 名視察	8 月 5 日	モンゴル国留学生ムンフバイサー氏来館
5 月 13 日	豊岡市議会議員(会派コスモス)14 名視察	8 月 7 日	学芸員実習生受入(～8/18)
5 月 17 日	読売新聞企画展取材	8 月 8 日	日本テレビニュースプラスワン取材
5 月 20 日	朝日新聞企画展取材	8 月 10 日	大阪府立茨木高校 14 名校外学習来館
5 月 21 日	資母公民館絵本の読み聞かせ	8 月 11 日	学童クラブ(高橋・合橋小) 20 名、出石クラブ 48 名来館
5 月 24 日	豊岡市議会議員(但東会派) 視察	8 月 13 日	日本玩具博物館 尾崎織女氏来館
5 月 27 日	豊岡市議会議員(会派希望)7 名視察	8 月 18 日	学芸員実習生受入(～8/30)
5 月 29 日	宝塚市小浜小学校区まちづくり協議会 47 名来館	8 月 19 日	中央公民館、奈良ガールスカウト 28 名来館
5 月 30 日	資母小学校 3 年 5 名、相撲協会芝田山親方(元横綱大乃国) 来館、橋本重幸氏寄託品持参	8 月 20 日	資母公民館事業「パン作り」「絵本の読み聞かせ」実施
5 月 31 日	日本海新聞取材、図書入れ替え、全館燻蒸	8 月 21 日	神美公民館 58 名来館、港東小学校 14 名校外学習来館
6 月 4 日	如布老人会ボランティア除草作業	8 月 23 日	七宝焼教室開催
6 月 11 日	石毛直道氏(元国立民族学博物館長)・河合雅雄氏(元県立人と自然の博物館館長) 御夫妻来館、プランター植替	8 月 25 日	博物館お泊り会開催(～26日)
6 月 17 日	但馬教育事務所研修会 19 名開催	8 月 27 日	華道教室開催
6 月 18 日	資母公民館絵本の読み聞かせ	8 月 28 日	但馬民俗芸能応援隊 2 名来館
6 月 20 日	東覚寺へ石造庚申塔 2 基返却	9 月 13 日	プランター植替
6 月 21 日	シルバー人材センター除草作業	9 月 14 日	企画展展示替え、日本玩具博物館井上館長ほか 3 名設営のため来館
6 月 22 日	シルバー人材センター除草作業	9 月 15 日	第 30 回企画展「世界をつなぐおもちゃの旅」開催(～1/9)
6 月 26 日	如布地区草刈ボランティア	9 月 20 日	シルバー人材センター芝生除草作業
6 月 27 日	丹海バスガイド施設見学	9 月 24 日	チャレンジクラブしば 12 名来館
6 月 28 日	ヤギのメイ双子を出産	9 月 26 日	海外青年協力隊 OG 沼田氏来館 消防設備点検
6 月 30 日	合橋小学校社 3 年 4 名社会科学習(インタビュー)	10 月 6 日	高橋保育園 17 名遠足
7 月 5 日	豊岡市議会建設経済委員 23 名視察	10 月 8 日	モンゴル国研修生 13 名来館
		10 月 9 日	モンゴル国研修生 3 名来館、如布神楽博物館駐車場にて披露
		10 月 10 日	モンゴル国研修生 13 名、通訳 3 名来館
		10 月 14 日	神戸新聞モンゴル国研修生取材、松蔭女子短大 25 名研修

10月15日	モンゴル国研修生 5名	2月16日	京丹後市立田村小学校 11名、野田川町立岩屋小学校 13名校外学習来館、毎日新聞社企画展取材
10月17日	資母公民館事業 絵本の読み聞かせ	2月17日	京丹後市立溝谷小学校 9名、京丹後市立吉野小学校 13名校外学習来館
10月18日	モンゴル国研修生帰国	2月18日	読売新聞社企画展取材
10月20日	空調機点検、全館燻蒸	2月28日	豊岡市立弘道小学校 2年生 41名校外学習来館
10月22日	豊岡小学校岩崎先生ほか 4名下見	3月2日	野田川町立三河内小学校 40名校外学習来館
10月28日	B棟北壁より雨漏り	3月4日	資母チャレンジクラブ料理教室 20名
11月1日	シルバー人材センター除草作業	3月3日	加悦町立加悦小学校 30名、京丹後市立川上小学校 10名校外学習来館
11月11日	豊岡小学校 3年 121名校外学習来館 但東子育て支援センター 17名、資母小学校 3年 3名校外学習来館	3月6日	豊岡市立資母小学校 2年生 18名校外学習来館
11月12日	図書館図書入替え作業	3月9日	京丹後市立橘小学校 2年生 27名校外学習来館、しゃがあ西村氏・ネルグイ氏来館
11月19日	プランター植替 「関西文化の日」入館無料、モン関西品川氏ほか 5名来館、資母公民館事業絵本の読み聞かせ実施	3月10日	西村氏・ネルグイ氏館内にてミニコンサート、京丹後市立湊小学校 6名、豊岡市立寺坂小学校 5名校外学習来館
11月27日	協力会販売所閉店	3月16日	京丹後市立網野北小学校 42名校外学習来館、西村幹也氏・ネルグイ氏館内にてミニコンサート
11月30日	しゃがあ西村幹也氏来館	3月17日	与謝野町立石川小学校 22名校外学習来館
12月1日	しゃがあ西村幹也氏、ゴビサポートジャパン高橋功氏、産経新聞オオサンショウウオ土鈴取材	3月20日	雑誌「神戸ウオーカー」取材
12月2日	読売新聞オオサンショウウオ土鈴取材	3月21日	産経新聞社企画展取材
12月3日	合橋チャレンジクラブ 21名来館、川嶋建設雨漏り修繕	3月23日	はとのさと保育園 15名見学
12月9日	白鹿記念酒造博物館歴史講座 18名、新田公民館 9名来館	3月28日	豊岡市博物館美術館運営委員会 9名視察
12月16日	豊岡市立図書館による蔵書点検	3月30日	ゴビサポートジャパン高橋功氏来館打合せ
12月20日	京丹後市立佐濃小学校 16名校外学習来館、本日より夜間ライトアップ開始	3月31日	氷丘公民館 22名来館
1月11日	企画展展示替え、日本玩具博物館 4名撤収作業のため来館 第31回企画展「豊岡市の文化財Ⅰ」開始		
1月16日	川嶋建設ロビー壁面修繕		
1月18日	全館フロア清掃		
1月19日	埼玉県北本市議会 3名視察		
1月23日	豊岡市国際交流協会ニュージーランド・タウマルヌイ高校生 10名来館	●平成18年度	
1月24日	豊岡市総合計画審議会 35名視察	4月3日	特別展資料搬入開始
2月2日	篠山チルドレンズミュージアム渡辺裕之氏来館	4月5日	ゴビサポートジャパン代表高橋功氏到着・特別展会場設営本格始動
2月3日	野田川町立市場小学校 45名校外学習来館	4月6日	読売テレビ 市文化財・河ノ辺の大桜取材
2月4日	吉野小・溝谷小学校先生 4名下見	4月7日	神戸新聞社特別展取材、出石警察署 特別展開催に係る打合せ
2月5日	たんとう雪まつり開催	4月8日	読売新聞社特別展取材
2月6日	自動ドア点検	4月9日	読売新聞社特別展取材、協力会販売所営業開始
2月13日	ゴビサポートジャパン高橋功氏来館	4月10日	特別展恐竜設置作業完了、プランター植替
2月14日	野田川町立山田小学校 2年生 27名校外学習来館	4月14日	大生部兵主神社 市文化財寄託のため来

	館、毎日新聞社特別展取材、豊岡南警察署特別展開催に係る打合せ	6月3日	体験教室「恐竜のレプリカ作り」開催
4月15日	特別展『モンゴル大恐竜展』開催、但馬県民局長、豊岡市長、豊岡市助役、各種報道機関等オープニングセレモニーのため来館	6月4日	広谷小学校区公民館 13名来館
4月16日	豊岡市助役他特別展視察	6月5日	兵庫県埋蔵文化財事務所 大平茂氏ほか2名来館、山陽放送取材
4月17日	和田山郷土資料館柴田東一郎館長ご夫妻来館、NHK 特別展取材	6月8日	川西市立南中学校 2年 70名校外学習来館
4月18日	資母保育園遠足、但東中学校校長着任挨拶、CAMEL 特別展取材	6月9日	兎和野高原所長谷垣氏、神戸市大石俊彦氏ご夫妻来館
4月20日	新日本海新聞社特別展取材、たんとうチューリップ祭り開園	6月10日	体験教室「恐竜をスケッチ」開催、読売新聞社体験教室取材、モンゴル国より B. プレブドラム氏来館(～10/13)
4月21日	野田川共同作業所 24名、与謝郡聴覚言語障害センター 12名来館	6月11日	体験教室「化石クリーニング体験」開催、豊岡市立小代小学校 2年生学P 19名
4月22日	島根モンゴル友好協会前会長夫人、豊岡市長夫妻来館	6月12日	養父市立青谿中学校バレー部 20名
4月24日	豊岡市立但東中学校 195名遠足、豊岡市立小坂保育園 43名見学	6月13日	豊岡市立資母保育園 24名来館、如布老人会除草作業ボランティア
4月25日	豊岡市行政改革関係職員研修	6月17日	体験教室「博物館お泊り会」開催(～6/18)
4月26日	豊岡市幼小校長会 42名来館、豊岡市立資母小学校 3年生 42名校外学習	6月18日	体験教室「化石クリーニング体験」開催、豊岡市三方公民館文化サークル 47名来館
4月27日	豊岡市立資母小学校 5・6年生 43名校外学習	6月22日	産経新聞社豊年エジ取材
4月28日	豊岡市立寺坂幼稚園 13名、豊岡市立高橋小学校 48名校外学習	6月23日	豊岡市立寺坂小学校 39名見学、プランター植替
5月2日	豊岡市立合橋小学校・幼稚園 51名遠足、朝日新聞社特別展取材	6月24日	体験教室「ペーパークラフト作り」開催、菅谷地区公民館 18名見学
5月4日	神戸新聞社特別展化石クリーニング体験取材	6月25日	体験教室「化石クリーニング体験」開催、南あわじ市教育委員会福田氏来館、如布区ボランティア除草作業
5月5日	ゴビサポートジャパン高橋功氏特別展化石クリーニング体験実施	6月27日	日本海新聞社特別展取材
5月11日	サンテレビ取材	7月1日	体験教室「恐竜の卵づくり」開催、出石地区公民館連絡協議会 19名視察
5月12日	エイベックスネットワーク(株)映画制作のため取材	7月2日	体験教室「化石クリーニング体験」開催、豊岡市立神美小学校 4年 PTA79名、朝来市立糸井小学校三区子ども会 13名見学
5月21日	豊岡市日高地域公民館 103名	7月3日	豊岡市立合橋保育園 33名見学
5月24日	神戸大学松下正和先生・木村修二先生大石家文書予備調査、学芸員実習生受入(～5/29)	7月4日	但馬地域博物館連絡会研修会開催
5月25日	養父市立高柳小学校 43名校外学習	7月7日	産経新聞社・毎日新聞社・神戸新聞社・読売新聞社特別展取材
5月26日	豊岡市立野本保育園、豊岡市高橋地区公民館見学	7月8日	関西大学教授森隆男氏
5月27日	豊岡市弘道地区公民館 32名見学	7月9日	特別展閉会・恐竜卵(模造)プレゼント、体験教室「恐竜の卵づくり」開催、豊岡市立中筋小学校 4年生 38名見学
5月29日	国家公務員新任職員研修	7月10日	ゴビサポートジャパン高橋功氏ほか3名、旧出石郡なかよし学級 59名校外学習来館、海外青年協力隊田尻氏ほか2名、兵庫県立出石高等学校教員 4名恐竜解体作業見学
5月30日	兵庫県子ども会連絡協議会速水順一郎氏来館	7月11日	キャメル・恐竜卵取材、豊岡市立豊岡南中
6月1日	豊岡市立資母幼稚園 20名特別展会場にて体験教室「恐竜スケッチ」開催		

	学校なかよし学級 8 名校外学習来館		作業
7月13日	第 32 回企画展「おもちゃの昭和史」開催	10月1日	植村直己冒険賞受賞者・長瀬忠志氏来館
7月15日	京都新聞社取材	10月2日	和田山郷土資料館柴田東一郎館長来館
7月19日	全館フロアー清掃	10月4日	企画展展示替え、日本玩具博物館 4 名来館
7月23日	京丹後市立豊栄小学校 2 年学 P35 名来館		
7月24日	「先生のトライやる」受入（豊岡市立日高東中学校教員～7/27）	10月5日	第 33 回企画展「出石磁器トリエンナーレ～石と炎の競演～」開始
7月27日	植村直己冒険館・サバイバル体験教室 42 名博物館敷地内にてキャンプ	10月8日	博物館前にて如布地区神楽奉納
7月28日	「先生のトライやる」受入（豊岡市立但東中学校教員～7/30）、シルバー人材センター芝生広場除草作業	10月12日	本庄四郎氏来館
7月30日	「先生のトライやる」受入（豊岡市立日高東中学校教員～7/31）	10月13日	兵庫県教育委員速水氏順一郎ほか 1 名
8月2日	体験教室「恐竜の卵づくり」開催	10月17日	全館燻蒸
8月4日	県青少年本部事業部 2 名視察	10月22日	和光大学講師関根秀樹氏来館
8月5日	資母地区公民館と「はばたんメダル」作成	10月24日	兵庫県陶芸美術館小松氏来館
8月7日	キャメル・るんるんテレビ企画展取材	10月26日	FM ジャングル西村基氏来館
8月8日	「先生のトライやる」受入（豊岡市立合橋幼稚園教員～8月11日）	10月27日	兵庫県陶芸美術館松岡千寿氏来館
8月9日	神戸新聞社企画展取材	10月28日	兵庫県陶芸美術館乾由明館長来館
8月12日	体験教室「勾玉づくり教室」開催、産経新聞社・朝日新聞社ムンフバートル氏ご一家取材、読売新聞社企画展取材	10月29日	モンゴル民族音楽団「イフ・ガザル」6 名来館
8月15日	毎日放送三多隆氏モンゴル民族音楽コンサート打合せ	10月31日	豊岡市立豊岡小学校 3 年生 94 名見学
8月17日	読売新聞社ムンフバートル氏取材	11月1日	全館フロアー清掃
8月18日	体験教室「昔のおもちゃをつくって遊ぼう」開催	11月2日	D. バヤスガラン氏・J. ミャンダス氏来館（～11/6）
8月19日	豊岡市市議会議員視察	11月3日	開館 10 周年
8月25日	入館者数 30 万人、産経新聞社・日本海新聞社・読売新聞社 30 万人記念セレモニー取材、体験教室「七宝焼教室」開催	11月4日	ムンフバートル氏ご一家、日本モンゴル白樺協会笠原千津子会長ほか 5 名来館、市民会館にてモンゴル民族音楽コンサート「イフ・ガザル～大地」開催
8月27日	竹野町文化協会 19 名来館	11月5日	『10 周年感謝のつどい』開催、駐日モンゴル国大使令夫人 S. ガンチメグ氏、同大使館サラントゴス書記官来館、モンゴル民族音楽コンサート（イフ・ガザル～大地）実施、モン関西村上宏治氏・博物館協会ボランティア協力、読売新聞社・神戸新聞社感謝のつどい取材、但馬史研究会 61 名来館
8月30日	但馬史研究会 10 名来館	11月7日	学芸員実習生受入（～11/13）
9月1日	参議院議員鴻池祥肇氏来館	11月11日	但馬ドーム「但馬まるごと感動市」に出店（～11/12）
9月2日	はばたん・メダル作り		
9月12日	太子町中央公民館 31 名来館	11月18日	「関西文化の日」入館料無料（～11/19）、養父市教育委員会 10 名来館
9月17日	日本海新聞社企画展取材		
9月19日	豊岡市立資母保育園 25 名見学、太子町中海央公民館 34 名来館	11月20日	JICA シニアボランティア山田康夫氏来館
9月21日	宍粟市教育委員会 10 名視察	11月21日	豊岡市消防署消防設備検査、但馬文教府 45 名来館、香美町立香住第二中学校 3 年 23 名校外学習
9月25日	国家公務員研修 2 名来館		
9月26日	但馬ふるさと特派員 7 名古文書取材、シルバー人材センター芝生広場除草作業	11月23日	豊岡市出石町寺坂子供会 27 名、モンゴルよりマンドハイ氏来館
9月29日	クリエイティブビジョン（eo 光テレビ）取材、シルバー人材センター芝生広場除草	11月24日	エイベックス映画宣伝のため取材
		11月25日	博物館協会販売所営業終了

11月28日 西日本放送ラジオ番組取材
 12月8日 近畿日本ツーリスト足立泰世氏・池田敬一氏来館
 12月10日 竹野スノーケルセンター子どもの野生復帰大作戦打合せ
 12月12日 兵庫県陶芸美術館松尾千寿氏資料調査のため来館
 12月13日 企画展展示替え
 12月14日 第34回企画展「草庵とその時代」開催
 12月15日 テレビ大阪取材・石田靖氏・桑原征平氏来館、兵庫県子ども会連合会速水順一郎氏、ゴビサポートジャパン高橋功氏来館
 12月19日 兵庫みどりの公社鳥越茂氏・宮田和男樹木医来館
 12月24日 鳥取大学実方剛先生来館
 12月26日 産経新聞社企画展取材、但馬ふるさとづくり協会松田渉局長、FM ジャングル西村基氏来館
 1月5日 読売新聞社企画展取材
 1月13日 神戸新聞社企画展取材
 1月14日 朝日新聞社企画展取材
 1月15日 毎日新聞社企画展取材
 1月16日 豊岡市立図書館蔵書点検
 1月26日 竹野スノーケルセンター小坂氏・村田氏来館
 1月27日 子どもの野生復帰大作戦（大人カリキュラム）実施、朝日新聞社・読売新聞社「子どもの野生復帰大作戦」取材、日本海新聞社企画展取材
 1月29日 京丹後市立川上小学校2年生10名見学、外壁修繕工事開始
 2月1日 京丹後市立橘小学校33名校外学習、ゴビサポートジャパン高橋功氏来館
 2月2日 豊岡市立合橋小学校21名校外学習
 2月3日 但馬天満宮へ絵馬奉納
 2月9日 豊岡市監査事務局4名施設点検
 2月13日 豊岡市立弘道小学校2年生49名校外学習
 2月14日 全館フロアー清掃
 2月20日 養父市立伊佐小学校2年生24名、豊岡市立資母小学校2年生15名校外学習、但馬県民局県有プランター設置事業打合せ
 2月22日 京丹後市立黒部小学校2年生13名校外学習、但東シルクロード観光協会2名来館
 2月23日 京丹後市立吉野小学校2年生21名校外学習
 2月27日 京丹後市立溝谷小学校16名校外学習
 3月4日 しゃがあ西村幹也氏・ネルグイ氏・クグル

シン氏来館、館内ゲルにてミニコンサート
 3月5日 京丹後市立鳥取小学校2年生23名校外学習
 3月6日 大阪府社会科研究会30名来館、外壁修繕工事完了
 3月9日 作家・森村誠一氏来館



森村誠一先生の来館

3月10日 鳥取但東会今井睦雄氏ほか14名来館
 3月12日 京丹後市立田村小学校9名校外学習
 3月15日 但馬県民局まちづくり課4名プランター設置
 3月20日 スーチンドロン氏来館
 3月21日 兵庫県陶芸美術館資料返却、京丹後市立島津小学校わかば学級4名校外学習

10. お客様の声より抜粋

以下は平成17・18年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

●平成17年度

◎ 4月1日 兵庫県神崎郡（女性）

ゲルなどはテレビで見るととても興味があつたので、実物を見ることが出来楽しかった。とても身近に感じることが出来た。子どもは教科書で勉強したので（スーホの白い馬）とても興味を持って見学していた。

◎ 4月1日 兵庫県神崎郡（女性）

ゲルなどはテレビで見てとても興味があったので、実物を見ることが出来楽しかった。とても身近に感じることが出来た。子どもは教科書で勉強したので(スーホの白い馬)とても興味を持って見学していた。

◎ 4月1日 兵庫県神崎郡(女性)

モンゴルの家の中を見て「すごいな」と思った。馬頭琴は本物が見られてよかった。服を着て、似合っ
てよかった。

◎ 4月2日 奈良県生駒市(女性)

展示物にもう少し説明が添付してあると分かりやすいと思いました(大きなお面や目が沢山ついた仏像など)。馬頭琴など楽器の実際の音が聴けたらもっと面白いと思います。大手の出版社の小2の国語のテキストに載っている、つまりものすごく沢山の人がモンゴルの話を読むわけですから、そのあたりをもっとうまく関係者にPRできたら、まちも有名になるし、モンゴルに親しみを持つ子ももっと増えてくるのではないのでしょうか。

◎ 4月3日 和歌山県(女性)

ヤギを飼育されているようですが、ヤギのミルク等飲めたり出来たらいいなあと思いました。

◎ 4月5日 兵庫県豊岡市(女性)

モンゴルの話が大変よかったです。絵もとってもきれいでした。

◎ 4月10日 京都府福知山市(女性)

展示物だけでなく、生き物もいてユニークだなあと
思った。昔のものがなつかしく面白かった。

◎ 4月15日 兵庫県神戸市(女性)

モンゴルの歴史がよく説明され、良く分かりました。ただ、鎌倉時代に出てくる知識しかなかったので…。

◎ 4月17日 兵庫県神戸市(男性)

兵庫県にこんな所(モンゴル民族博物館)があるの
を知らない人が多くいると思われれます。機会を見て
もっとPRが必要です。

◎ 4月17日 兵庫県高砂市(女性)

モンゴルの衣装を着ることが出来たのが、めずらし
くて楽しかった。日本の民家に上がって、昔の生活が
のぞけたような気がしてよかった。

◎ 4月17日 大阪府豊中市(男性)

このような場所にモンゴルとゆかりの有る博物館が
あるとは知りませんでした。他には無い内容でよかつ
たと思います。

◎ 4月18日 京都府舞鶴市(女性)

安くで見させていただきありがとうございます。
見ごたえがあった。もっと宣伝されてもよいのではな
いでしょうか。

◎ 4月18日 京都府加佐郡(女性)

初めて来ました。こんなよい所があるのを知り、是非
また知り合い等と来たいと思いました。

◎ 4月21日 兵庫県豊岡市(女性)

展示のところ、各コーナーで音声での案内があれば
詳しく分かると思います。

◎ 4月25日 京都府京丹後市(女性)

スーホの白い馬のお話が流れていたからうれしい。

◎ 4月26日 兵庫県豊岡市(女性)

大変見ごたえのある予想外の楽しさがありました。
6人でたっぷり楽しめました。

◎ 4月28日 京都府京丹後市(女性)

めずらしいものがたくさん見たり体験できて良かつ
たです。

◎ 4月29日 京都府(女性)

モンゴルを知るのには分類ごとに説明がしてあり、
わかりやすい。できれば、映像やイベントなど、もつ
と身近なものも企画してほしい。

◎ 4月29日 兵庫県宝塚市(女性)

ほかのくにのことをよく知れてよかったです。モン
ゴルはいろいろなことや家がかわってました。

◎ 4月30日 兵庫県豊岡市(女性)

モンゴルの生活は、今と昔ちがう点、同じ点がある
と思いますが、どこまでが昔で、今はどうなのかがよ
く分かりませんでした。スーホの白い馬の時代のまま、
今もそうなのか…と子どもは思ったようですが…。

◎ 5月4日 宮城県仙台市(女性)

ディスプレイ・照明など、なかなかいい感じではあ
るのですが、建物内のほうのゲルが、内部が暗く、子
どもが入るのをはじめ怖がっているのを見ました。も
う少し明るめにすれば子どもにとっても楽しいゲル展
示になると思います。あと、通路の絵画、遠めで見れ
るとすばらしいかと。

◎ 5月4日(女性)

2年生のときにならった馬頭琴を見てみたかつたで
す。本物が見れてよかったです。

◎ 5月15日 大阪府堺市(女性)

毎回、モンゴルの民族衣装で盛り上がります。説明
がないものは疑問のままちょっとモヤモヤしまし
た。もっと人が来たらしいのと思います。

◎ 5月15日 大阪府堺市(女性)

モンゴルの民族衣装はよかったです。前より服が増
えていて楽しかったです。もっと増やしてください。

◎ 5月29日 京都府亀岡市(女性)

こんなに面白いとは思ってませんでした。

◎ 6月6日 京都府京都市(女性)

通りがかって入ってみて展示の素晴らしいのに感動
しました。「スーホの白い馬」のスライド、帰ったら

- 孫に話してやろうと思いました。
- ◎ 7月17日 兵庫県神戸市(女性)
ココロカード扱いにして下さってありがとうございます。昨年度スーホの白い馬を娘が習ったのでとても興味深く拝見しました。市街地のそばにパオ集落があるのにびっくりしました。プレーリードッグはどうしてここにいるのでしょうか。但東と関係があるのでしょうか。
 - ◎ 7月31日 兵庫県三田市(女性)
ゲルの中に入ったり衣装を着れたり、ヒツジのくるぶし骨で遊べたりとても楽しくモンゴルの生活を知ることができました。
 - ◎ 7月31日 兵庫県西宮市(男性)
衣装を着てポーズをとって写真を撮れるところが楽しい！！
 - ◎ 7月31日 兵庫県西宮市(女性)
モンゴルの衣装を着て写真を撮ったりプレーリードッグがなついてくれたりして楽しいひと時でした。モンゴル仏教も一つ一つ細かく作ってあって見ごたえがありました。
 - ◎ 7月31日 福井県(男性)
大変つかしく興味深く見せていただきました。
 - ◎ 8月8日 大阪府高槻市(女性)
立ち寄ってみて、異文化の生活を感じることができ、この町の歴史にも触れられる機会ができて、旅行中のほっとできる時間となりました！案外面白かったです。
 - ◎ 8月8日 大阪府高槻市(男性)
昨年に続いて来てみました。今回はプレーリードッグが食事をするのを見ることができてラッキーでした。こちらの方面へ出掛ける方がいらっしゃればぜひ立ち寄ってみては・・・と知らせてあげたいですね！
 - ◎ 8月8日 大阪府高槻市(女性)
前も一度来館しましたが、とても気に入ってまた家族で来館しました。ここへくると、心が癒やされます。モンゴルの衣食住を知ることができて本当に楽しいです。次は友達を連れて来ようと思います。プレーリードッグ、今回は見ることができました。めちゃめちゃかわいかったです。
 - ◎ 8月9日 兵庫県赤穂市(女性)
交通の連絡が悪かった。赤穂を7:50発JRで、着いたのが13:30頃だった。市がバスの料金を助成する等もう少し活性化するように考えてほしいと思いました。折角の日本で唯一の博物館をもっといろんな人たちが見に来れば市の財政も豊かになると思いました。同じ県民として宜しくお願ひします。
建物が立派なので、夏休みであればもっと多くの人
 - ◎ 8月10日 大阪府吹田市(女性)
説明がとても分かりやすかったです。
 - ◎ 8月12日 兵庫県神戸市(女性)
よくぞこれだけ判りやすく説明され、物も集めたと感心しました。人の営み・歴史が良く分かりました。古き時代、人はいろんなものに人を超える力を求めたのですね。それほど食・衣・住を守り続けることに困難があったのです。
 - ◎ 8月28日 大阪府大阪市(男性)
初めて来ましたが、モンゴルのいろいろなことがわかって面白かったです。モンゴルにも行ってみたいです。
 - ◎ 9月17日 大阪府東大阪区(女性)
遠い国だが、交流の深い国のことを知ることができた。生活面の様子がよくわかった。
 - ◎ 9月18日 兵庫県姫路市(女性)
ゆっくりと見学できました。所々にすわれる場所があり、ふれられたりもでき、子供達も大変喜んでいました。冬に一度来たときは閉まっていた、今度こそは・・・とやってきました。楽しかったです。
 - ◎ 10月10日 京都府福知山市(女性)
モンゴルの文化がよく分かってよかったです。
 - ◎ 10月30日 兵庫県明石市(男性)
いつ来ても楽しいです。
 - ◎ 11月6日 兵庫県神崎郡(女性)
初めて来て大変よかったです。友人にすすめたいと思います。前にシルク温泉に来て、ここにきたかったのですが、時間もなく、今回まで楽しみにしていました。
 - ◎ 11月6日 兵庫県神崎郡(女性)
思っていたよりもずっとずっとよかったです。また友達にもつたえたいと思います。
 - ◎ 11月6日 兵庫県西宮市(女性)
夫がパキスタン北部出身で、自宅がスカルドというところにあります(K2のふもと)。モンゴルの文化に夫の地元と似通う点を発見し、大変興味深く拝見させていただきました。
 - ◎ 11月10日 兵庫県豊岡市(女性)
地元なのに滅多に来ることがありませんでした。今回これよかったです。いしょうがよかったです。次はカメラを持ってきます。
 - ◎ 11月10日 兵庫県美方郡(男性)
ガイド役の職員がよかったです。
 - ◎ 11月23日 京都府京都市(女性)
ここにプレーリードッグがいると聞いて来てみまし

た。残念ながらプレーリードッグは巣穴から出てきてくれませんでした。展示内容が楽しくてまた来たいと思いました。

- ◎ 11月23日 兵庫県豊岡市(女性)
思いのほか展示物も多く、充実していて感心しました。
- ◎ 11月23日 兵庫県豊岡市(男性)
地元の方対象の図書コーナー設置はよいと思う。
- ◎ 11月26日 兵庫県豊岡市(女性)
世界をつなぐおもちゃが非常におもしろかった。
- ◎ 11月26日 兵庫県丹波市(女性)
ビデオ映画が見れる場所があったと思うのですが・・・なくなったのでしょうか。プレーリードッグがまた出てきた所を目撃できて幸せになりました。世界のおもちゃではラクダ(チェコ)のおもちゃに大変和まされました。よかった。
- ◎ 1月8日 京都府京丹后市(女性)
世界にあるおもちゃが分かってよかったです。何回きてもあきません。またきたいです。
- ◎ 1月22日 京都府京都市(女性)
とてもきれいな施設でおどろきました。ゆっくりみられてよかったです。
- ◎ 2月9日 京都府南丹市(女性)
モンゴルの生活や人々の様子が細かくわかって、自分のイメージが変わりました。(細工物のとてもていねいに作ってあった。きれい好きな人たち。)ありがとうございました。
- ◎ 2月19日 大阪府大阪市(女性)
職員の方の対応が親切でよかったです。プレーリードッグが見られなくて残念。
- ◎ 2月19日 兵庫県豊岡市(女性)
ゆっくり見られて大変よかったです。試着できたりさわれたりするので、子ども達も体感できたと思います。
- ◎ 2月23日 朝来市和田山町(女性)
伝承文化室はかなりなつかしく思いました(最近まで近所にありました)。今思うと昔の人の知恵がたくさん盛り込まれていて機能的だと思います。感心。ゲルも一家だんらんできて、多少不便でも大切な生き方って言うのもあるなあと思いました。
- ◎ 2月26日 大阪府大阪市(女性)
子ども(年長と小2)がちょうど「スーホの白い馬」でモンゴルに興味があり、ちょうど天気が悪かったので、せっかくならばとこちらに寄せてもらいました。喜んでいました。
- ◎ 2月26日 兵庫県神戸市(女性)
モンゴルの衣装が着れたのはおもしろかった。住居

のモデル(?)は中に入れておもしろかった。ウルルンみたいでした。

- ◎ 2月28日 奈良県生駒市(女性)
ゲルがすごく本物と同じようにかぐなどが配置してあってよかった。もう少し写真なども多かっただけかなと思う。他の町など。
 - ◎ 3月5日 兵庫県朝来市(女性)
受付の方がすごく感じ良くて気持ちがなごみました。誠にありがとうございました。
 - ◎ 3月5日 京都府宮津市(男性)
衣装やゲルなど、ただ見るだけではなく触れることができる展示はとてもよいと思います。
 - ◎ 3月13日 兵庫県川辺郡(男性)
モンゴルの生活感がとてもよく分かってよかったです。
 - ◎ 3月18日 兵庫県豊岡市(女性)
むかしの人は、モンゴルににているいえだなどおもしろい。人げんのほねでふえがあつてびっくりしました。ほかにもいろいろあつたのしかつたです。
 - ◎ 3月18日 兵庫県豊岡市(女性)
いろいろあつて、とくに服がかかるかつたのでびっくりしました。ゲルも中にいろいろあつてかわいかつたです。くわしく書いてあつたのでわかりやすかつたです。豊岡市のぶんかはくつをぬいだらあがつてもいいところがよかつたと思います。
 - ◎ 3月19日 兵庫県川辺郡(男性)
ここへきたわけは「スーホの白い馬」にでて来る馬頭琴をさがしにやつて来たよ。
 - ◎ 3月19日 兵庫県豊岡市(女性)
子どもが小2で、学校でモンゴルの服を着せていたでいて喜んでおり、是非行きたいと言つて、今回来てさせていただきました。実際にゲルの家に入れたり、いろいろ見られて良かつたです。
 - ◎ 3月19日 兵庫県豊岡市(男性)
いろんなものが展示してあり、説明も入れてあつたので、モンゴル、豊岡、但東の事がとてもよく分かつてよかつたです。
 - ◎ 3月18日 兵庫県豊岡市(女性)
たのしかつた。また来たいと思いました。
 - ◎ 3月23日 京都府与謝郡(男性)
18年初場所白鵬が大関と優勝をしそうので、楽しみです。モンゴル館の発展に夢をつなぎたい。
- 平成18年度
- ◎ 4月8日 京都府京丹后市(女性)
昔のことがよくわかり、大変勉強になります。今は

何でもある時代だから、昔の不自由さが分かりませんが、まだまだ世界にはいろいろな所があるのでこういう博物館は良いと思います。

- ◎ 4月9日 兵庫県姫路市(女性)
良かったです。また新しいのをよろしく。
- ◎ 4月15日 兵庫県養父市(女性)
すごく大きな恐竜の化石がたくさんあり、「あんなのが走っていたんだ」とおどろいた。博物館では実際に着れたりさわれたりしたのでいいと思った。
- ◎ 4月15日 在地不明(男性)
小さなきょうりゅうや大きなきょうりゅうをみれてとても楽しかったです。きょうりゅうじだいのすなをさわられてうれしかった。
- ◎ 4月15日 京都府舞鶴市(男性)
季節ごとの企画展を希望します。食事・軽食施設があればいい。
- ◎ 4月15日 兵庫県美方郡(男性)
大型の骨格標本は大変よかった。
- ◎ 4月17日 兵庫県八鹿町(男性)
恐竜好きなのでまた来ます。こういう意欲的な恐竜展をまたやってください。
- ◎ 4月20日 兵庫県豊岡市(男性)
毎日きているけどあきない。
- ◎ 4月22日 兵庫県豊岡市(女性)
モンゴルの人がこんな生活をしていたことにびっくりしたし、たくさん見たことのないものにもびっくりしました。
- ◎ 4月24日 兵庫県豊岡市(女性)
きょうりゅうてんのきょうりゅうのかせきは、本物を見るときはすごくはくりよぐがありました。
- ◎ 4月24日 兵庫県豊岡市(女性)
きょうりゅうが すごかったよ!!
- ◎ 4月24日 兵庫県豊岡市(女性)
きょうりゅうてんにきて、とてもうれしかったです。きょうりゅうのことをいっぱいしらべられてよかったです。
- ◎ 4月26日 兵庫県明石市(女性)
衣装(モンゴルの)が着れて大変楽しかった。ゲルの中もリアルに再現されていて、見ていて興味深かった。
- ◎ 4月27日 京都府福知山市(女性)
当館は本当に素晴らしいの一言につきます。生活の全てが展示してあり、又美しく、清潔感にあふれています。恐竜展に来たのですが、当館に出会えて良かったです。
- ◎ 5月3日 兵庫県朝来市(女性)
三男が小2の時『スーホの白い馬』の授業を受けて

すぐ、貴館より出張授業に来ていただき、民族衣装を着せていただいたり、馬頭琴に触れたり、とても感激していました。なかなか都合がつかず、やっこのことで本物の『日本・モンゴル民族博物館』に連れて来てやる事が出来ました。羊のくるぶしの骨のおもちや、食事の内容など、授業で聞いた話をよく覚えていて、びっくりしました。やっ願がかなって来ることができ、とても喜んでます。

- ◎ 5月6日 兵庫県豊岡市(女性)
モンゴルの服が着れるのがとても良かったです。もっと服を増やしてくれると、とてもうれしいです。
- ◎ 5月6日 兵庫県高砂市(男性)
子供が大変よろこびました。探索キットをおうちに帰ってすぐしたいと、楽しみにしているようです。
- ◎ 5月7日 兵庫県明石市(女性)
恐竜の骨は想像していたよりずっと大きく感激しました。子供もよい記念・思い出になったようです。「スーホの白い馬」を国語で習ったところだったので、得意げに話してくれました。楽しかったです。
- ◎ 5月7日 兵庫県神崎郡(女性)
モンゴルのチーズやパンなどを食べてみたい。試食できればと思いました。
- ◎ 5月12日 京都府京丹後市(女性)
度々来館したいと思います。立派な展示、良かったです。
- ◎ 5月28日 大阪府堺市(女性)
今日は館長さんの貴重なお話を聞かせていただき、とても充実した時間を過ごせました。モンゴル旅行、楽しんで、私なりにモンゴルについて学んでこようと思います。ありがとうございました。
- ◎ 5月29日 京都府(女性)
恐竜展もモンゴル館も素晴らしかったです。モンゴルに行った気分にならせてもらえました。小さなモンゴルの伝統工芸品などを展示即売してもらえたらいいなって思いました。
- ◎ 6月1日 京都府与謝野町(男性)
モンゴルの本も当館で求め読みました。感激したのは、馬は子供が手元にいないと乳を出さないことをその本で知り、生物の真理を少し知りました。ありがとうございました。
- ◎ 6月8日 京都府京丹後市(男性)
シルクロードに関心があり、モンゴルは我々にとって最も近い関係にあると思っている。孫の一人もウランバートルにホームステイしたことがある。孫が来た時には連れてきてやりたい。
- ◎ 6月10日 兵庫県豊岡市(女性)
隅々まで手入れのゆき届いたセンスの良い博物館で

- あり、子供たちが実体験として感じることでできる、ゲルの展示、昔の家、あとスーホの白い馬という名絵本のデジタル導入等、現代っ子のニーズが取り入れられていると感じた。年代を問わず、幅広い年代で楽しめる館ですね。これからの可能性を感じる博物館であると思います。
- ◎ 6月11日 兵庫県養父市（男性）
「スーホの白い馬」がべんきょうになった。また行きたい。
 - ◎ 6月18日 兵庫県神河郡（男性）
道路標識が分かりにくかった（出合付近）。化石の展示にもっと表示をしてほしかった。
 - ◎ 6月23日 大阪府阪南市（女性）
子供たちに見てもらえたら、とてもよい勉強になると思います。
 - ◎ 6月25日 兵庫県加古川市（女性）
化石クリーニングをして、むずかしかったし、おもしろいところもありました。
 - ◎ 7月8日 兵庫県（女性）
モンゴル博物館に行ったとき、見たことがないものを見れたのですごかったし、きょうりゅうのほねがさわられてうれしかった。
 - ◎ 7月9日 京都府福知山市（男性）
常設展示の内容をいろいろ変えてほしい。
 - ◎ 7月9日 兵庫県赤穂郡（男性）
日本モンゴル大恐竜展最終日に来れた。実物のカセキを見たのと、職員さんより説明を受け、大変よかったです。ありがとうございます。
 - ◎ 7月9日 京都府亀岡市（女性）
モンゴルの文化に触れることができ、又、歴史を知ることができ、良かったです。子供は化石を、旦那は独身時代に行ったモンゴル旅行を、私は全てに楽しかったです。また来たいです。PS. プレーリードッグかわいかったです。常に「来たい」と思わせてくれるイベントの開催を期待しています。
 - ◎ 7月16日 岡山県和気郡（女性）
入口の馬が気に入りました。知人に教えようと思います。
 - ◎ 7月16日 兵庫県三田市（女性）
とても見やすくキレイで、モンゴル以外にも歴史のわかる展示物があり良かったです。子供も喜んでいました。
 - ◎ 7月17日 兵庫県豊岡市（男性）
初めてのことが多く、おもしろかったです。
 - ◎ 7月23日 京都府京丹後市（女性）
衣装を着られるのがよかったです。ゲル(?)も大変様子がわかってよかったです。
 - ◎ 7月23日 大阪府守口市（男性）
道案内の看板が少なく、字も小さく分かりにくい。（展示資料の）品数が揃っているのにビックリし、楽しませてもらいました。夫婦で拝見できよかったです。
 - ◎ 7月25日 兵庫県明石市（女性）
説明をしてくださる方が居れば、なお良かったと思います。
 - ◎ 8月5日 大阪府中央区（男性）
京都文博にいました（歴史展示）。常設も見ごたえもありました。また来たいです。
 - ◎ 8月5日 京都府京丹後市（女性）
おもちゃのがよかったです。また来たいです。ぼとうきんの事がよくわかりました。
 - ◎ 8月8日 大阪府吹田市（女性）
たいへんきれいでした。
 - ◎ 8月14日 大阪府豊中市（男性）
一週間前にモンゴルに行って来ました。先にここに来れば、もっとモンゴルが分かったと思う。
 - ◎ 8月15日 大阪府守口市（女性）
もう少しほかにイベントがあればよいと思います。
 - ◎ 8月15日 静岡県島田区（女性）
一枚ガラスの向こう側の朝顔がすばらしく美しく、暑かった一日ですが涼しさを感じさせてくれ保養になりました。楽しい思い出を作らせていただき感謝して帰ります。
 - ◎ 8月15日 大阪府門真市（女性）
とてもいいものを見させていただきました。又、こさせていただきます。
 - ◎ 8月17日 埼玉県越谷市（女性）
おもちゃがおもしろかった。
 - ◎ 8月17日 兵庫県神戸市（男性）
本当に楽しめました。お金がうつわに入ってくれ良かったです。
 - ◎ 8月19日 京都府加佐郡（男性）
大変館内がきれいだった。
 - ◎ 8月19日 奈良県大和高田市（女性）
ずっと来てみたくて、やっと来ることが出来ました。福知山から奈良に引越し、遠くなったけど、又、是非来たいです。今度はモンゴル人の留学生の友達も連れてきてあげたいです。本当に楽しかったです。
 - ◎ 8月25日 大阪府大阪市（女性）
モンゴル高原の暮らしと文化が住居ゲルもありよかったです。小学生の子供は「おもちゃの昭和史」が楽しかったといっています。
 - ◎ 8月26日 京都府丹波市（女性）
子供と来て子ども達も勉強になったのでよかったです。
 - ◎ 8月26日 京都府丹波市（女性）

教科書に出ていた所があり、役にたった。

- ◎ 9月2日 岡山県備前市 (男性)
館内に食事できるフードコーナー (本格的なものではなくてよい) があればいいと思う。
- ◎ 9月9日 兵庫県姫路市 (男性)
なつかしく思いました。モンゴロイドの原点ですね。ありがとう、楽しかったです。
- ◎ 9月10日 京都府京都市 (男性)
童心にかえれました。
- ◎ 9月17日 兵庫県神戸市 (女性)
モンゴルの家や服などがあったり、昔のおもちゃがあったりしてとても楽しかったです。
- ◎ 9月18日 兵庫県豊岡市 (男性)
昔のものとかがいっぱいあり、モンゴルのこともよく分かったし、変わった服もあって、それ以外にも楽しむところがあって楽しめたり、いろんなものが見れて本当にいいところだと思いました。
- ◎ 9月18日 大阪府松原市 (男性)
衣装最高!! かなり盛り上がりました。
- ◎ 9月22日 兵庫県三田市 (女性)
みた事もない様な所の住居から生活までよく判りました。但東の皆様の格別の外交と外国への見聞を大変感心してみせて頂きました。
- ◎ 10月10日 兵庫県篠山市 (男性)
スーホの白いうまがテレビであって、かなしいお話だった。でもぼとうきんのできたいみがわかった。
- ◎ 10月14日 兵庫県川西市 (男性)
予想もしなかった規模と展示内容に圧倒された。展示物・展示方法が秀逸です。できればモンゴルの観光や生活を映像で見る事ができればいい。
- ◎ 10月31日 岡山県久米郡 (女性)
いろいろなモンゴルの生活や歴史を見てよかったです。
- ◎ 11月5日 兵庫県美方郡 (男性)
子供がとても気に入っています。また行きます。
- ◎ 11月5日 兵庫県神崎郡 (男性)
モンゴル民族音楽会大変よかったです。モンゴルに行ったみたいに聞いていました。
- ◎ 11月18日 兵庫県養父市 (女性)
とても館内が美しく、気持ちよく見せていただくことが出来ました。本当に良かったです。
- ◎ 11月19日 兵庫県西宮市 (女性)
常設展示が外にあればおもしろいのでは?
- ◎ 11月21日 兵庫県美方郡 (女性)
デールが着れて嬉しかったです。モンゴルについて、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。詳しい説明ありがとうございます。
- ◎ 11月21日 兵庫県美方郡 (女性)
ゲルの中を見る事ができてよかったです。インターネットよりも、より詳しく知ることができてよかったです。
- ◎ 11月21日 兵庫県美方郡 (男性)
とても勉強になった。モンゴルの文化・生活をたくさん知ることができた。プレーリードッグが見れなくて残念だった。
- ◎ 11月21日 兵庫県香美町 (女性)
デールの試着ができて嬉しかった。思っていたより体験コーナーがたくさんあって楽しかった。モンゴルの大きさやすごさがよくわかってよかったです。
- ◎ 11月23日 京都府綾部市
トイレがきれいで気持ちよかったです。
- ◎ 11月24日 兵庫県西宮市 (男性)
日本・モンゴル民族博物館故、両国の民族に関する関連、かわり、歴史のつながりをもっと知らしめて欲しい。しかも学術的に、学者の意見を取り入れて。
- ◎ 12月1日 兵庫県西宮市 (女性)
モンゴルを身近に感じられるようになった。
- ◎ 12月9日 静岡県浜松市 (女性)
モンゴルのコトがよく分かりました。モンゴルの衣装が着れてよかったです。
- ◎ 1月7日 兵庫県神戸市 (女性)
館内、とてもきれいでした。
- ◎ 1月8日 大阪府大阪市 (男性)
展示品 (コレクション) をどんどん増やして行ってほしい。
- ◎ 1月21日 兵庫県西脇市 (男性)
すばらしく親近感を覚える。
- ◎ 2月10日 兵庫県神戸市 (女性)
車で何度か通ったのですが、一度拝見したいと思い寄ってみました。モンゴルの生活等よく分かりました。興味があります。
- ◎ 2月11日 大阪府東大阪市 (男性)
モンゴル相撲大会を開いてください。
- ◎ 2月17日 兵庫県豊岡市 (女性)
3回目来ました。毎回スーホの白い馬を習うたびに来ています。
- ◎ 2月18日 兵庫県朝来市 (女性)
いろんなモンゴルのことが分かってよかったです。スーホの白い馬がよかったです。
- ◎ 2月25日
展示が中心だったので、もっと子供が体感できるようなものがあればよかったですのではないかと思います。
- ◎ 2月25日 兵庫県豊岡市 (女性)
子供が学校でスーホの白い馬の授業を受け、こちら

の職員の方がモンゴルの話をしてくださったようです。子どもの希望もあって来てみました。おもしろかった(興味深かった)です。

◎ 3月11日 京都府京都市(女性)

子供が国語でスーホの白い馬を習っていきまして、とても喜んで見学しました。ありがとうございました。

◎ 3月18日 兵庫県美方郡(女性)

モンゴルの人は、一度長井小学校に来たことがありますが、あんまりよくしらなかったもので、いきかいてよかったです。また近くへ来たら「きたいなあ」と思っているところです。

◎ 3月18日 兵庫県豊岡市(女性)

日本のむかしの家やゲル(パオ)を見たりモンゴルのみんぞくいしょうをきたりしたのが楽しかった。

◎ 3月25日 兵庫県養父市(女性)

思ったよりとても充実した内容でよかったです。また来たいです。小学校での特別授業もすばらしく、モンゴルブームが我が家でおきてます。

◎ 3月25日 兵庫県神戸市(女性)

もう少し早く知っていれば、スーホの白い馬をならう前に来たかった。

11. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

施行：平成17年4月1日
条例第179号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。

(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査

研究に関すること。

(6) 他の博物館等との相互協力に関すること。

(7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。

(8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等(以下「建物等」という。)を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不相当であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。

(使用权の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるお

それがある物品若しくは動物の類を携帯する者

(3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者

(4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

別表第1(第5条関係)

区 分	観覧料(1人1回につき)		備 考
	個 人	20人以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企 画 展 示 室	1,500円	2,000円	
体験交流室(1人につき)	100円	200円	200円
天 幕 住 居 (ゲ ル)	1基につき5,000円		
備 考			
1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。			
2 電気窯の使用料は、1回当たり1,000円とする。			

12. 施設概要

(1) 本館建設概要

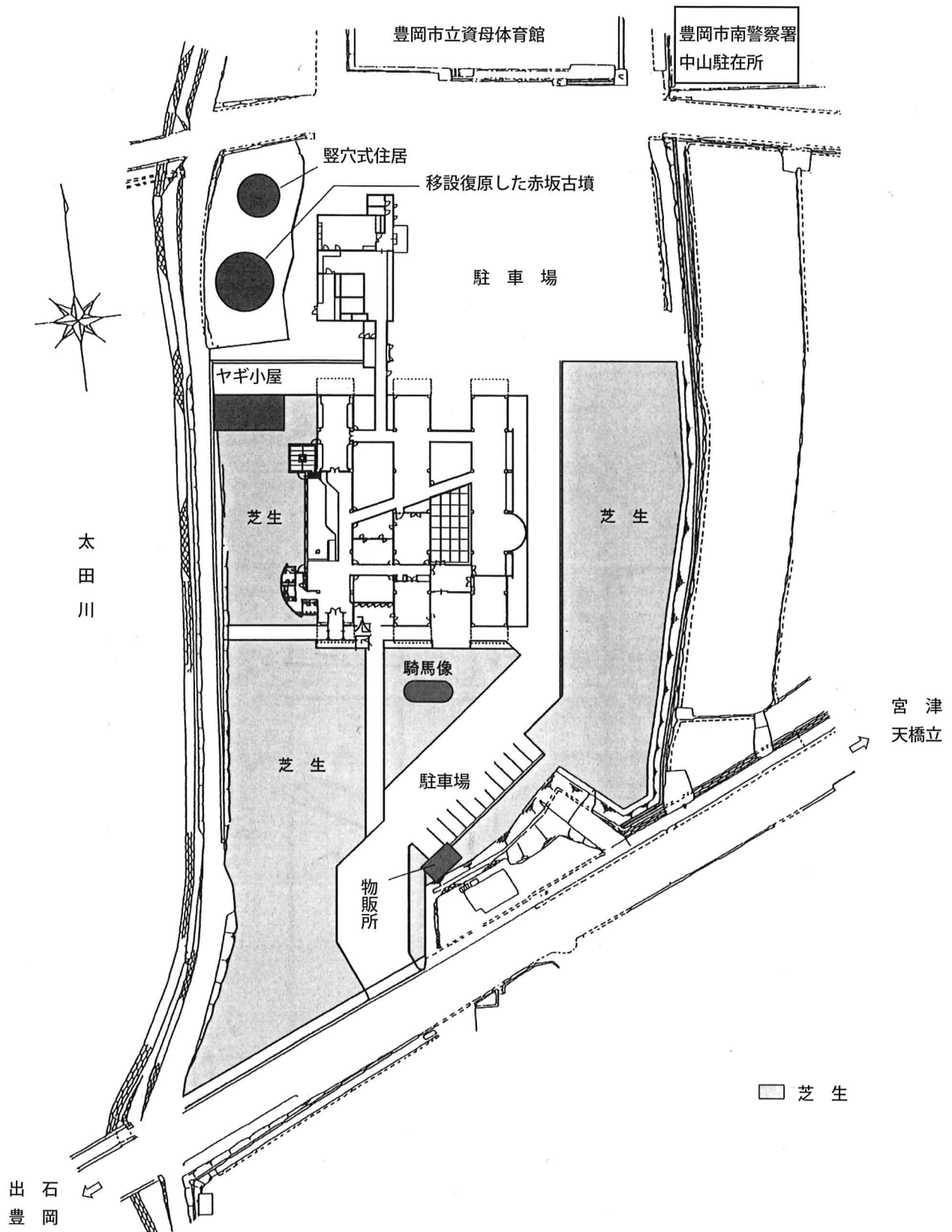
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺 立体トラス鉄骨(KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、 収蔵庫1 54.6㎡、収蔵庫2 56.5㎡、 荷解室 33.3㎡、多用途室 28.0㎡、 事務室 33.3㎡、準備室 48.2㎡ 展示室「アジアの歴史」75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡ 展示室「チベット仏教」37.7㎡ 企画展示室 74.4㎡ シルクロード(回廊)1 13.3㎡、シル クロード(回廊)2 13.3㎡、シルクロ ード(回廊)3 12.6㎡、シルクロード(回 廊)4 12.6㎡

建物規模	平屋建て 東西41.8m 南北42.5m 地上高9.0m
仕 上 げ	〈外装〉 複層吹付 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

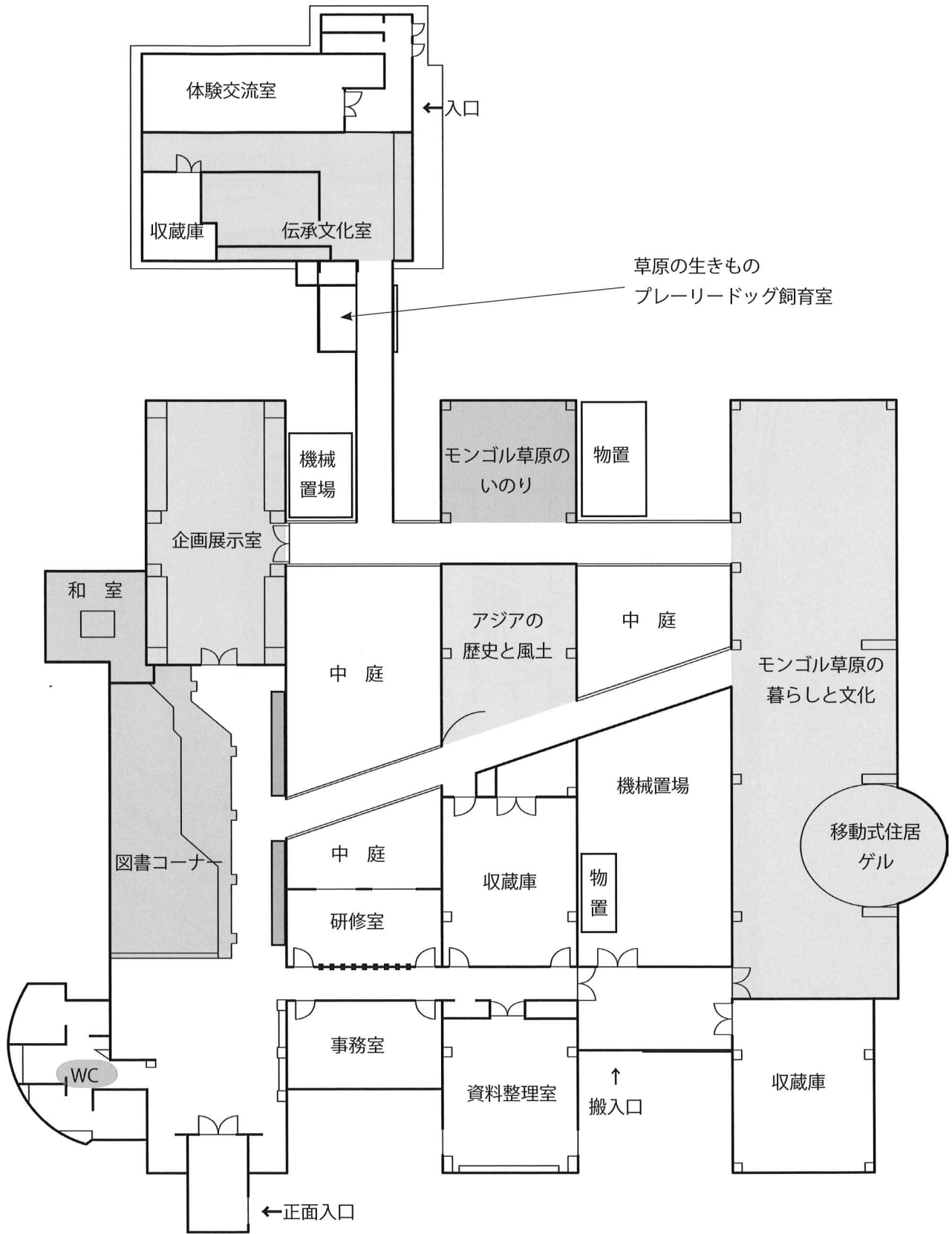
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6㎡、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」112.5㎡、 シルクロード(回廊)5 36.4㎡、収蔵 庫 27.2㎡
建物規模	平屋建て 東西12.8m 南北21.2m 地上高7.1m
仕 上 げ	〈外装〉 押出形成セメント板 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井 : 化粧PB張 一部杉板張

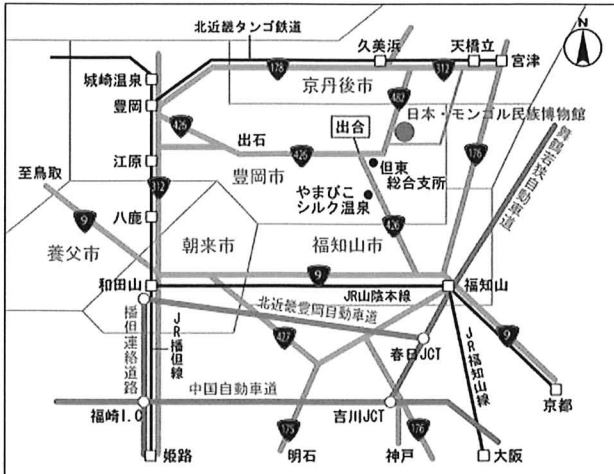
(3) 配置図



(4) 館内図



13. 交通案内



- JRで（山陰線）
豊岡駅よりバスで約40分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で
大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道 福知山IC下車後約50分
京都方面…京都縦貫道路 丹波IC下車後約90分
姫路方面…播但連絡有料道路 和田山IC下車後約50分

14. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
展示替えによる臨時休館
- 入館料
一般 500円(450円)
高校・大学生 300円(250円)
小学・中学生 200円(150円)
※()内は20名以上の団体の場合
※身障者は各料金の半額
※市内在住の65歳以上は半額
※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

あ と が き

■ 振り返ると、この2年間は本当にあっという間に過ぎたように思います。市町合併による新しい町としてのスタート、新たな職員体制、特別展の開催やオープン10周年など、一瞬一瞬が重く、また大切な時間だったと思います。

私は平成17年と18年に千葉県佐倉市で行われた文化庁主催の歴史民俗資料館等専門職員研修に参加させて頂きました。歴史資料の扱いや活用方法を学ぶ中で、一緒に研修に参加した様々な地域の博物館職員と交流することができ、改めて自分が現在いる施設を鑑みることが出来ました。

初めて来ても、何度来ても、面白いと思える展示づくり、そしてこうした私たちの活動を少しでも多くの方に知って頂きたい…現在の私は、自分の未熟さゆえに目標ばかりが先行しますが、それでも基本的なことは着実に、また小さな施設だからこそ持ち得る柔軟性を発揮して、魅力ある博物館づくりに取り組んでいきたいと思っています。

(山本龍馬)

■ 平成17年4月の市町合併に伴い、機構・職員構成・事務関係他もろもろが変わった。その中で、大きく変わる事のない博物館業務や、特別展・企画展・出前授業・記念イベント等々の活動を進めていくのは、何かとこれまでとは違う感を受け、その都度迷ったり、考えたり、戸惑ったり…そんな日々が過ぎていった。良いものは変わらないと言うが、相も変わらずともいう。十年を一つの節目とするならば、これを機に全てを見直し、取り組んでいかなければ難しい状況である。”相変わらず素晴らしい”と言っていただけるよう、まずは自分磨きから始めよう。ともすれば(常に)民族よりも民俗、社会科よりも国語科的な思考傾向にあるので、時として民俗よりも民族、国語よりも社会科的、アナログよりもデジタルと、臨機応変に動けるようにならなくては。果たして、どこまで動けるのか? いや、動かねば。

(渡辺律子)

■ 平成17年度は1市5町が合併し、「豊岡市」としての新しい一步を踏み出した記念すべき年でした。私も、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の一員としてお世話になることとなりましたが、新市となつてのいろいろな制度の変化や考え方の違い等に試行錯誤しながらの1年だったように感じました。

平成18年度で、もっとも心に残る事といえば、やはり特別展の『モンゴル大恐竜展』の開催でした。モンゴルからやってきた巨大恐竜化石の数々は、初めて目にするものばかりで迫力満点でした。今までにない2会場を使つての展示となり、朝夕の準備等大変な面もありました。しかし、たくさんのお客様に来ていただき「ゆっくりと、間近でいいものを見せてもらった。ありがとう」という言葉をいただくとその目の回るような忙しさも癒されました。

新市となり財政面やその他の面でいろいろと制約は出てきます。しかしお客様が「また来て見たいな」と思っただけのよう、あいさつ・笑顔を絶やさないう心掛けていきたいと考えています。

(柴田明子)

■ 17年4月から博物館勤務になったのですが、私にとって未知に等しい「モンゴル国」にこれから、かかわっていくとは思ひもかけぬことであり、不安、戸惑い、緊張のスタートでした。

金津館長が情熱を傾けられ収集された貴重な資料にふれ、驚きの連続でした。あっという間に2年が過ぎ、いろいろな事にチャレンジできる場を与えてもらいました。

失敗を重ねながら、館長や職員の皆さんに助けてい

ただき、少しは、自分自身成長したかな？と思いつつまだまだ悪戦苦闘の毎日です。

博物館に来てくださるお客様との出逢いや、出前授業、体験教室を通じての子供たちとのふれあいは、かけがえの無い宝物です。日々の仕事の中でその瞬間、瞬間を大切に、いろんな人からいただいた感動を、これからは、こちらから少しでも多くの人に与えられる事を目標に勤めていきたいと思っています。

(橋本真紀恵)

博物館に勤務して、早いもので2年が過ぎました。何もかもが新しい事ばかりで、戸惑いや不安や楽しさや新しい事の発見でいっぱいの毎日でした。館内の掃除・ヤギの世話・レジの打ち方・事務仕事・館外の管理など、想像以上の仕事の範囲に大変驚きました。受付に座っていると、お客様からの色々な質問が多く、スツと答えられない私は他の職員に助けを求めていました。

この2年間で、とても印象に残っているのが『出前授業』です。特に馬頭琴を弾いている時が印象深いです。ほんの少しの時間しか触ることができないけれど、ゆっくりと弓を動かしたり、激しく弓を動かしたり、どうすれば違う音が出るか試してみたり・・・子ども達の個性が一瞬で出てくるのが面白いところです。子ども達がキラキラした目で一生懸命に話を聞いている姿が忘れられません。そんな子ども達に、モンゴルの事を上手く伝えるために、自分にもっと知識を入れるよう努力したいと思います。

(渡辺明子)



日本・モンゴル民族博物館年報第 9 号

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No.9 (for the fiscal year of 2005-2006)**

〒 668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711
711Nakayama.Tanto-Town,Toyooka-city,Hyogo Pref. 668-0345 Japan
TEL (0796)56-1000 / FAX (0796)56-1022
URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>
Email monpaku@city.toyooka.lg.jp

発行／日本・モンゴル民族博物館
平成 19 年 3 月 31 日発行

印刷／岩見印刷（株）
〒 669-5321 兵庫県豊岡市日高町土居 67-1
TEL (0796) 42-1200 / FAX (0796) 42-1236